

CHOFU

石油暖房機

[密閉式石油ストーブ]

取扱説明書

(保証書付)

型名

SUNpot UFH-703SX C

SUNpot UFH-703RX C

SUNpot FFR-703SX C

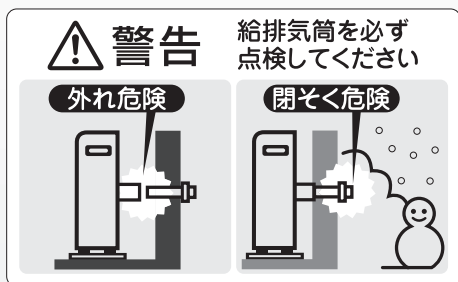
SUNpot FFR-703RX C

床暖房内蔵ビルトイン

床暖房内蔵ウォームトップ

ビルトイン

ウォームトップ



お客様ご自身による工事は危険です。
据付工事は販売店や専門業者にご依頼ください。
(ストーブを移設させる場合も同じです。)

このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

取扱説明書をお読みになる前に

使ってみよう！

お部屋を暖めたい

点火 ▶ 18ページ

火力の調節 ▶ 20～21ページ

微小運転で暖房を使いたい

ワンタッチ微小運転

▶ 31ページ

経済的に暖房を使いたい

eco⁺ (エコプラス)運転

▶ 28～30ページ

起床する前にお部屋を暖めたい

タイマー運転

▶ 25～27ページ

手動運転で暖房を使いたい

手動運転 ▶ 21ページ

灯油の使用量を知りたい

おしえてNavi⁺ (ナビ) 機能

▶ 33～34ページ



困ったときは？

お手入れの方法は？

▶ 35～37ページ

ストーブの動きがいつもと違う

▶ 40～46ページ

表示部・操作部にチェックモードが出ている！

▶ 41～45ページ



ご使用の前に

取扱説明書をお読みになる前に 2

特に注意していただきたいこと 4

使用する場所

（効果的に使用するために） 10

各部の名称

（外観図） 11

（操作部） 13

（表示部） 14

ご使用前の準備と確認

（燃料） 15

（給油） 15

（空気抜き） 15

（点火前の準備と確認） 16

基本の使いかた

使用方法

（点火） 18

（火力の調節） 20

（床暖房運転） 22

（消火） 23

（時刻合わせ） 24

必要なときに

使用方法

（タイマー運転） 25

（eco(エコプラス)運転） 28

（ワンタッチ微小運転） 31

（チャイルドロック） 32

（おしえてNavi(ナビ)機能） 33

日常の点検・手入れ

（点検・手入れのときの注意） 35

（点検・手入れの必要事項、時期、方法） 35

定期点検

（定期点検の実施時期） 38

（定期点検の内容） 38

設計上の標準使用期間について 39

故障かな？と思ったら

（修理を依頼する前に） 40

（安全装置） 42

（その他の装置） 43

（チェックモード） 44

（点検時期お知らせ機能） 45

部品交換について 47

保管 48

仕様 49

据付け・移設 53

試運転 58

保証書 巻末

アフターサービス 裏表紙



ご使用の前に

基本の使いかた

必要なときに

特に注意していただきたいこと

●本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		

警告

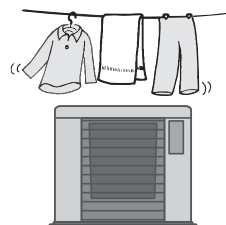
●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



●衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。



●給排気筒(管・ホース)はずれ危険

給排気筒(管・ホース)がはずれたまま使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



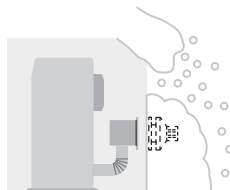
●温風吹出口をふさがない

衣類や紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。衣類や紙などでふさぐと、火災の原因になります。



●給排気筒閉そく危険

給排気筒(管・ホース)がつまったり、ふさがれたりしたまま使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。積雪の多い地方などでは、給排気筒トップの周りが雪や氷柱(つらら)でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは除雪してください。酸欠事故・火災・過熱の原因になります。

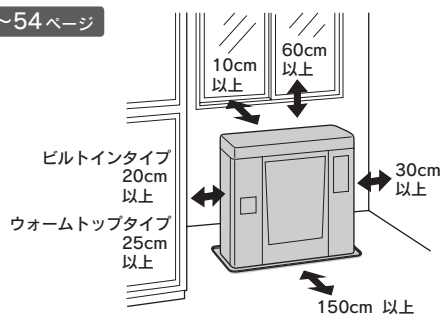


●可燃物近接厳禁

カーテン・布団・毛布など燃えやすい物のそばなどで使用したり、ストーブや排気管に近づけたりしないでください。火災の原因になります。可燃物とは図の示す距離を確保してください。詳細は据付場所の選定および標準据付例を参照してください。



53～54ページ

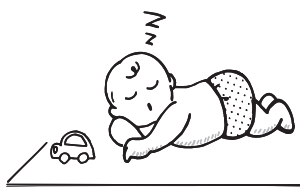


●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。
	ガソリン厳禁		接触禁止
	分解禁止		衣類乾燥禁止
	電源プラグを抜く		一般的な警告・注意

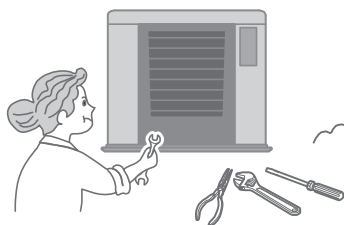
●低温やけどに注意 **床暖内蔵タイプ**

長時間皮膚の同じ場所に触れないでください。
比較的低い温度(40~60℃)でも低温やけど
や脱水症状の原因になります。



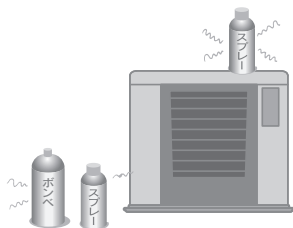
●ご自身での据付け・移設工事の厳禁

お客様ご自身による工事は危険です。
据付工事は販売店や専門業者にご依頼くださ
い。
(ストーブを移設させる場合も同じです。)



●スプレー缶厳禁

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなど
を、温風のあたるところや、ストーブの上や
前に(周囲に)放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあ
ります。



●改造・分解禁止

改造して使用しないでください。また、ス
トーブや排気筒には床暖房用の熱交換器など
を取り付けしないでください。
火災や排ガスが室内に漏れる原因となり危険で
す。改造・分解して使用しないでください。
改造・分解は、ストーブの安全性を損なうた
め、火災など、思わぬ事故の原因になります。
故障、破損したら使用しないでください。



●定期点検の実施

定期的(2年に1回程度)に点検・整備を受け
てください。
点検を受けずに長期間使用し続けると、故障
や事故の原因になり危険です。
点検・整備はお買い求めの販売店や資格者の
いる店に依頼してください。



●外付け装置による遠隔操作厳禁

スマートフォン、IT機器を使ってストーブの
スイッチを操作する外付け装置(※)は安全性を
確認できないため、使用しないでください。
※操作ボタン付近に設置し、インターネット
通信などを介して、操作ボタンを切り切り
できる装置。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

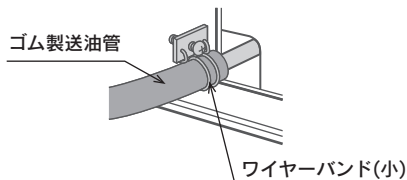
● 給油時は消火する

給油は必ず消火し、火の気のないところで行ってください。
火災のおそれがあります。



● 油漏れの確認

油タンク・ゴム製送油管・接続部・送油バルブおよびストーブなどから灯油漏れがないことを確認の上、ご使用ください。
灯油が漏れていると火災の原因になります。



● ゴム製送油管の点検・交換をする

ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。
ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2~3年に一度は新しい物に交換することをおすすめします。
交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。



● 異常・故障時使用禁止

油漏れや臭い、ススの発生、炎の色・エラーを繰り返すなど異常や故障と思われるときは使用しないでください。
事故の原因になります。
「故障かな?と思ったら」に従って処置してください。

40~46ページ



● 不良灯油使用禁止

変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミが混入した灯油など)などの不良灯油を使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。



● 温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。



● 高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部(前面ガード)、排気筒(給排気筒トップ)に手など触れないでください。やけどのおそれがあります。



● 指や異物を入れない

ガード内や空気取込口などに指や異物を入れないでください。
けがや火災の原因になります。



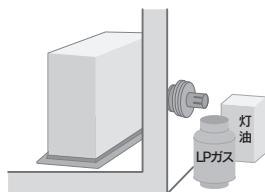
● 腰をかけたたり物を載せない

ストーブの上に乗ったり、腰をかけたたりしないでください。
機器の故障や、やけどのおそれがあります。
ストーブの上に花瓶や水を入れた物などを置かないでください。
水がかかると、漏電や故障の原因になります。



●給排気筒付近の可燃物近接禁止

給排気筒トップの近くに、灯油や可燃物など引火のおそれのある物を置かないでください。火災の原因になります。



●特殊な場所での使用禁止

ストーブは居室の暖房用としてつくられた物ですので、乾燥室・温室・飼育室などでは絶対に使用しないでください。また、クリーニング店・美容院など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。化学薬品などの影響により異常燃焼や故障の原因になります。



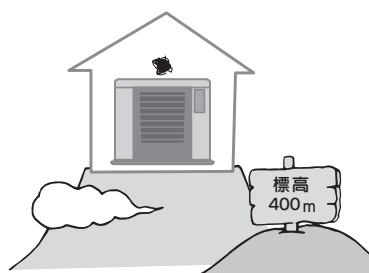
●高地で使用するときはご相談ください

標高400m未満でご使用ください。標高400m～1,200mで使用する場合は調整が必要です。そのまま使用すると、空気不足となり、異常燃焼の原因になります。



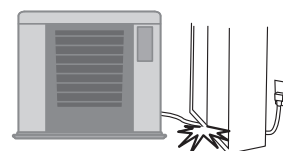
(詳しくは、工事説明書の延長給排気方式・高地使用時の工事方法を参照してください。)

標高1,200mを超える高地では使用できません。



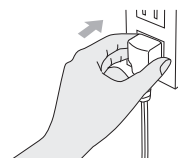
●電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を載せたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。



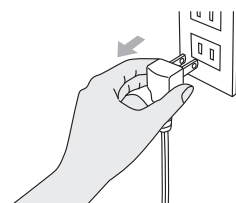
●電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。(また、傷んだプラグや緩いコンセントは使用しないでください。)火災の原因になります。ぬれた手で抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



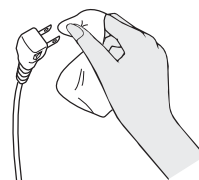
●長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは電源プラグを抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。



●電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこり(および金属物)を除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



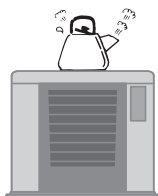
特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

●やかん載せ禁止



やかんなどを載せないでください。
振動や接触によってやかんの熱湯がこぼれ、
やけどのおそれがあります。
やかんなどによってストーブ上面をふさぐ
と、ストーブ内の温度が上昇し、破損や予
想しない事故の原因になります。

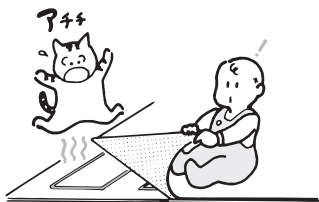


●カーペットのはがれに注意



床暖内蔵タイプ

カーペットがずれたり、めくれたりしたまま
使用しないでください。
床パネルに直接接触すると、やけどのおそれ
があります。



●循環水(不凍液・補充液)の保管に注意



床暖内蔵タイプ

循環水(不凍液・補充液)は幼児の手の届かな
い所に保管してください。
万一、飲んだ場合にはすぐに吐かせて、医師
の診断を受けてください。



お願い

使用上の注意

●高温部に注意

機器の上面板・前面ガード・給排気筒トップ・排気管などは高温です。やけどに注意してください。

特にお子様をストーブに近づけないでください。保護ガード(関連部材)のご使用をおすすめします。



●低温やけどに注意 床暖内蔵タイプ

長時間皮膚の同じ場所に触れないでください。比較的低い温度(40℃~60℃)でも低温やけどや脱水症状の原因になります。

次のようなかたがご使用になるときは、周りのかたが常に注意してあげてください。

- ・乳児・お子様・お年寄り・病人や体の不自由なかた
- ・皮膚の弱いかた
- ・睡眠薬などを服用されたかた
- ・深酒・疲労の激しいかた
- ・心臓病などで身体を暖めることを医師から止められているかた



●雷時の注意

雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

激しい雷の影響でストーブが故障するおそれがあります。



●シーズンオフの注意

シーズンオフのように、長期間使用しないときは電源プラグを抜いてください。

また、シーズン初めに使用されるときは、「ご使用前の準備と確認(15~17ページ)」・「試運転(58~59ページ)」の項を参照して確認および操作を行ってください。

●ガラス部の注意

ガラスへは水をかけたり、衝撃をあたえたりしないでください。

ガラスが割れて、危険です。

●長期間使用時の注意

長期間使用すると、ガラス内部に白い物質が付着することがあります。

これは灯油成分中の硫黄分が付着したもので、ガラスの耐久性には問題ありません。(有料にて交換することができます。)

●ストーブ前面付近の注意

ストーブ前面付近は、ふく射熱が強いので熱に弱い物を置いたり、敷いたりしないでください。

変色や変形することがあります。

●給排気筒先端からの結露水について

給排気筒の先端から結露水がたれることがあります。異常ではありません。

排気管に結露水がたまった場合は、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。

●灯油の廃棄

灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

使用する場所

- ストープを安全に使用するためには、場所の選定が大切です。
- 場所の選定は「据付場所の選定および標準据付例」の項をお読みください。 [53～54 ページ](#)

効果的に使用するために

- 冷たい外気に接する窓ぎわや壁側に据え付けると、冷気が暖められて対流しますので効果的です。
- ストープの前方に障害物があると、部屋の温度にむらができる原因になります。

次の場所では使用しないでください。火災や予想しない事故の原因になります。

- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物を載せた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所、またはたまる場所
- 付近に燃えやすい物がある場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 温室・飼育室など人のいない場所
- 標高1,200mを超える高地

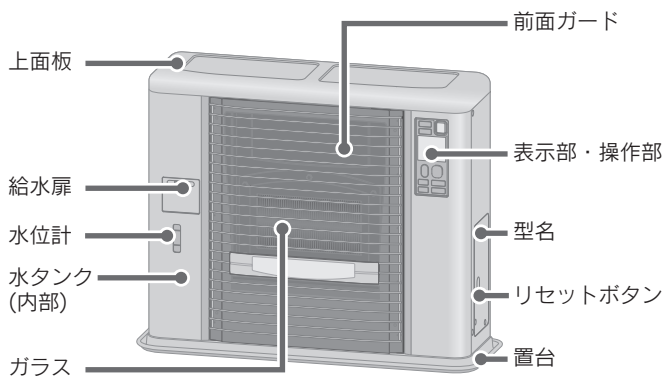
各部の名称

外観図

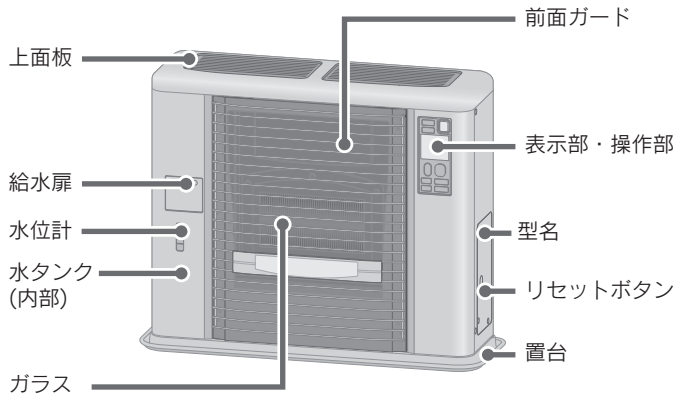
イラストはイメージです。

正面

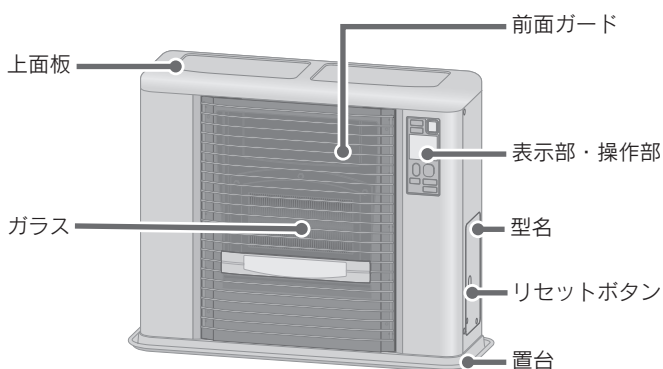
UFH-703SX



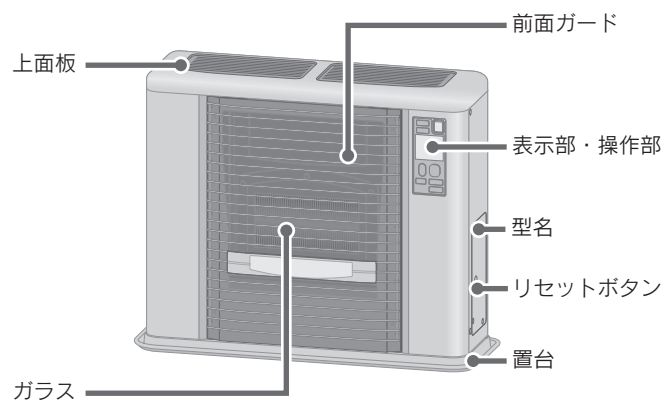
UFH-703RX



FFR-703SX



FFR-703RX



使用前に

基本の使いかた

必要なときに

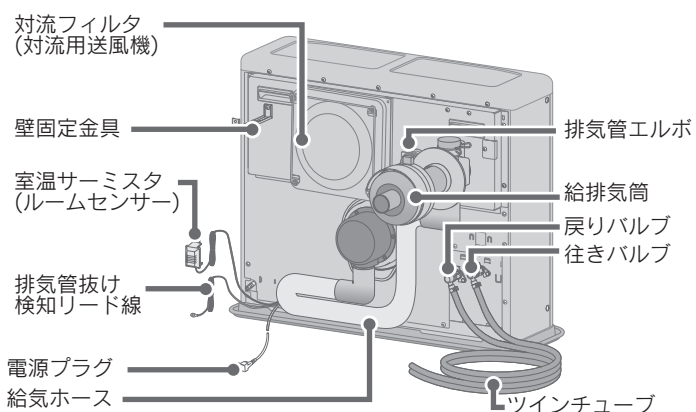
各部の名称

外觀図

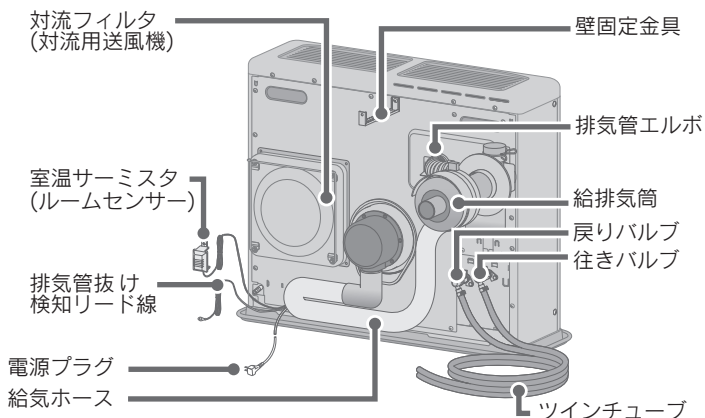
イラストはイメージです。

背面

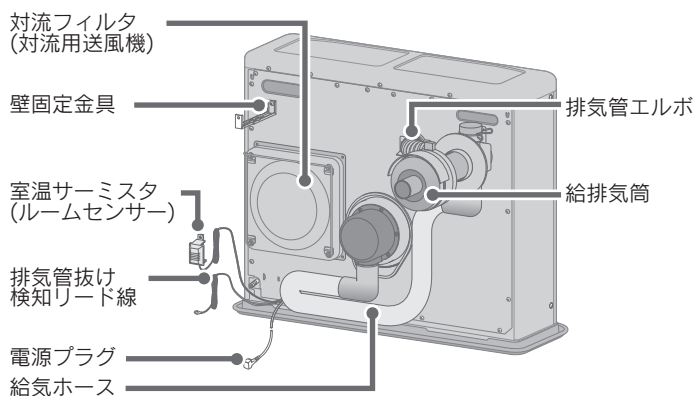
UFH-703SX



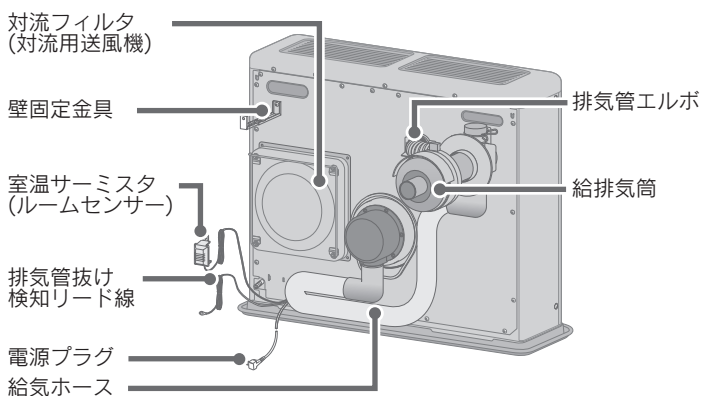
UFH-703RX



FFR-703SX



FFR-703RX



操作部

イラストはイメージです。

- 操作ボタンを押すと「ピッ」音を発して、受け付けたことをお知らせします。
- 操作できないボタンを押すと「ピピッ」音を発して、受け付けないことをお知らせします。
- バックライトが消灯しているときに操作ボタンを押すと、バックライトが一定時間点灯します。

eco (エコ) ランプ (緑・赤)

- ・「緑」点灯…eco (エコプラス) 運転中 (モード1)
- ・「赤」点灯…eco (エコプラス) 運転中 (モード2)
- ・「緑」「赤」点滅…eco (エコプラス) 運転中に室温が設定室温になった場合 (消火中も点滅)

運転ランプ (赤)

- ・点灯…運転中
- ・点滅…チェックモードを表示して消火したとき
eco (エコプラス) 運転中に自動消火したとき
タイマー運転をセットしたとき (運転時)
(いずれもストーブが冷えると点灯に変わる)

eco (エコ) ボタン

eco (エコプラス) 運転の開始および解除 (自動運転時)

微小ランプ (赤)

点灯…微小ボタンによるワンタッチ微小運転中

微小ボタン

ワンタッチ微小運転の開始および解除

おしえてボタン

灯油使用量と使用日数の表示およびリセット

床暖内蔵タイプ

床暖ランプ (赤)

点灯…床暖房運転中
点滅…チェックモード表示中
エアー抜き中

床暖内蔵タイプ

床暖ボタン

- ・床暖房運転の開始および停止
- ・エアー抜き



運転スイッチ

運転の開始および消火

温度・時刻設定ボタン

- ・室温を1℃ずつ設定 (自動運転時)
- ・火力を設定 (手動運転時)
- ・時刻設定 (現在時刻、タイマー時刻)
- ・水温を1℃ずつ設定 (床暖運転時) **床暖内蔵タイプ**

UFHタイプ 床温調節時	FFRタイプ 時
-----------------	-------------

タイマーボタン

タイマー運転のセットおよび解除

タイマーランプ (緑)

点灯…タイマー運転予約中
eco (エコプラス) 運転 (モード1) 切替予約中
(eco (エコプラス) 運転 (モード2) 時)

使用の前に

基本の使いかた

必要なときに

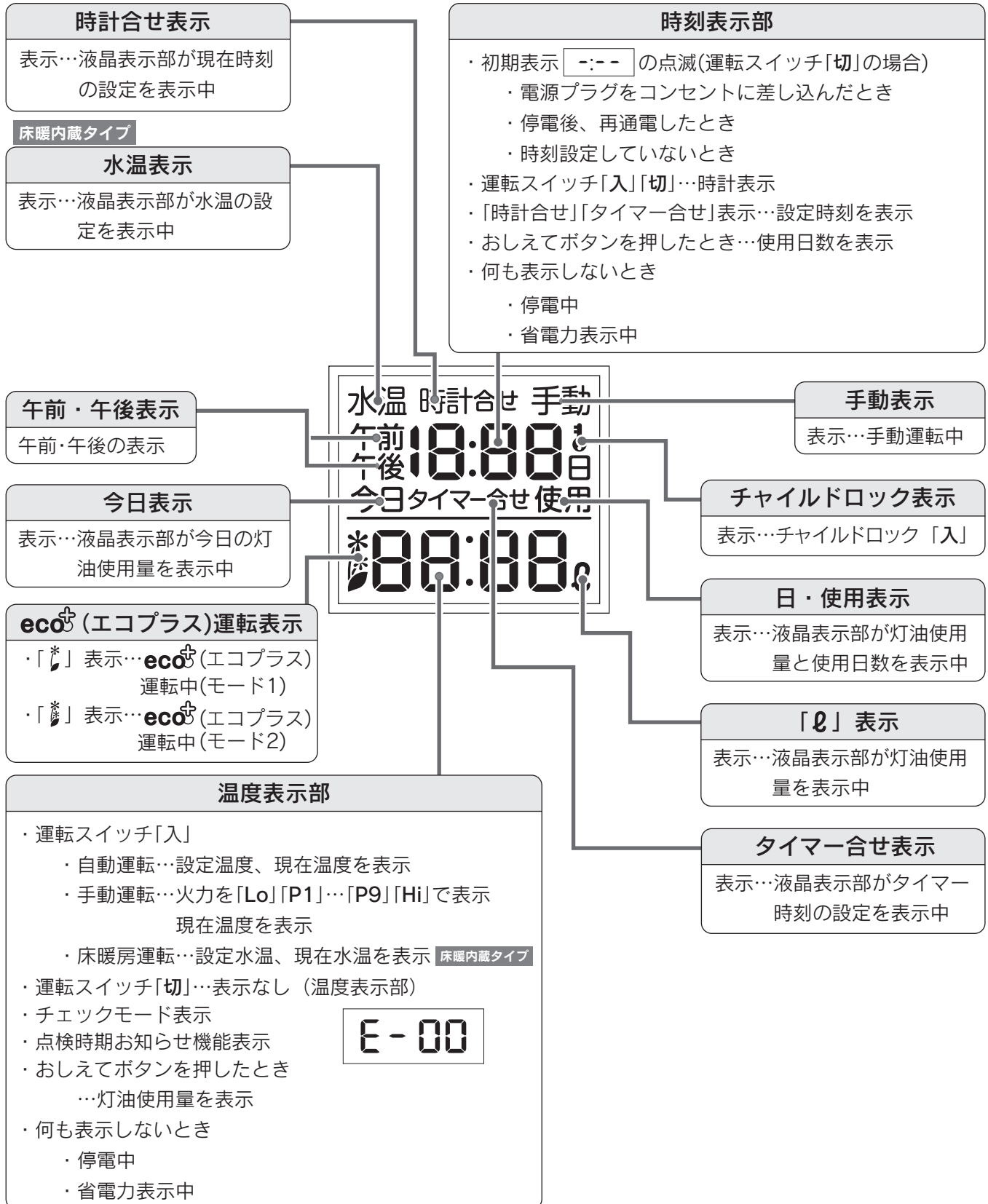
各部の名称

表示部

イラストはイメージです。

● 運転スイッチを「入」にすると表示部に白色のバックライトが点灯します。

※バックライトを消すことができます。 **19ページ**



ご使用前の準備と確認

燃料

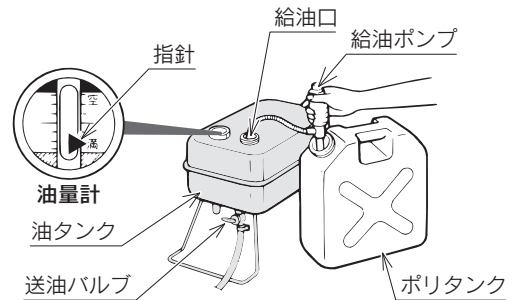
- 燃料は、灯油(JIS1号灯油)を必ず使用してください。
- 不良灯油(変質灯油・不純灯油)は、絶対に使用しないでください。
不良灯油(変質灯油・不純灯油)とは、
・ 変質灯油：古い灯油(ひと夏持ち越した灯油)・日あたりがよい場所に保管した灯油・温度が高い場所に保管した灯油など。
・ 不純灯油：灯油以外の油(ガソリン・シンナー・天ぷら油・機械油・重油など)がほんの少しでも混入した灯油。
また、水・ゴミが混入した灯油。
- 変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用すると、ストーブの故障の原因になります。

給油

給油はストーブを消火してから行ってください。

- 1 油タンクの送油バルブを閉める
- 2 油タンクの給油口ふたをはずし、給油する

- 油量計の表示が「満」の印以上には絶対に入れないでください。



- 3 給油口ふたを確実に閉める
- 4 こぼれた灯油はよくふきとる

ご注意

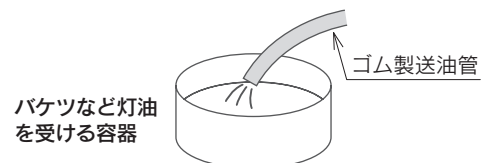
- 油タンクは空にしないでください。
「空」まで燃焼させると油切れ検知装置が作動し燃焼が停止しますが、油切れ検知装置の故障などの場合は、一時的に大きく赤い炎が出て、消火し運転が停止します。また、油タンクが空になってから給油しますと、送油経路内に空気が入り正常に送油できなくなることがあります。
- 給油するときは、ゴミなどが入らないよう注意してください。燃焼不良の原因になります。

空気抜き

初めて使用するときや、油切れでチェックモードが表示されたときに行ってください。

- 1 油タンクの送油バルブを閉める
- 2 ストーブからゴム製送油管をはずす
- 3 送油バルブを開けて、灯油が連続して流れることを確認する

- 灯油がこぼれないように容器を用意してください。



- 4 送油バルブを閉めて、ゴム製送油管を元通りに取り付ける

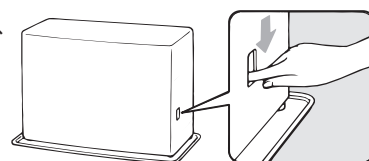
ご使用前の準備と確認

点火前の準備と確認

1 定油面器安全装置のセット

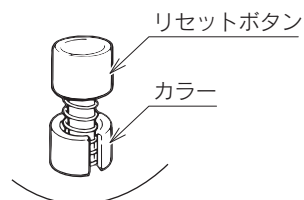
- 初めて使用するときやシーズン初めに使用するときには、リセットボタンを押してください。据付時やストーブに強い振動をあたえたときに、定油面器の安全装置が作動して灯油が流れないようにになっています。点火操作後、油タンクに灯油が入っても「E-03」「E-05」「OIL」のチェックモード表示が出たときは、リセットボタンを押して安全装置を解除してください。

リセットボタンを軽く押し、
すぐ指を離す



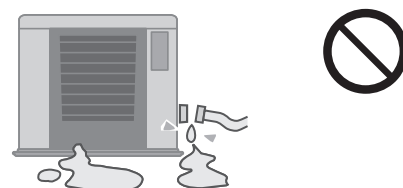
ご注意

- リセットボタンを燃焼中むやみに触らないでください。
- 絶対にカラーをはずして、押さないでください。



2 油漏れの確認

- ゴム製送油管やストーブの置台に油漏れがないことを確認してください。万一、油漏れしている場合は送油バルブを閉め、必ずお買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。



3 水漏れの確認 床暖内蔵タイプ

- 温水配管接続部から水漏れがないことを確認してください。万一、水漏れしている場合は温水バルブを閉め、必ずお買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。



4 ストーブ周囲の確認

- ストーブの周囲および給排気筒トップの周囲に引火物や可燃物がないことを確認してください。火災や予想しない事故が発生するおそれがあります。



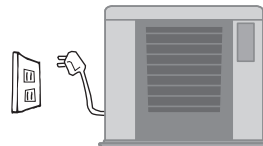
5 給気ホース・排気管の接続の確認

- 給気ホース・排気管が正しく接続されていることを確認してください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、大変危険です。



6 電源プラグの接続

- 電源プラグが100Vの専用コンセント(家庭用AC100V)に差し込んであることを確認してください。また、電源コードを給排気筒に巻きつけたり、排気筒などの高温部に触れたりしないように注意してください。



7 循環水の水位確認 **床暖内蔵タイプ**

- 機器左下部の給水扉にあるのぞき窓から循環水の水位を確認してください。
(補給方法 **36ページ**)

使用方法

省電力表示について

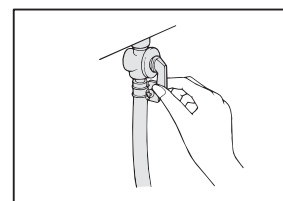
運転スイッチが「切」でストーブが停止中、ボタンを押さない状態が2分以上続くと省電力表示となり、表示部の表示がすべて消えます。この状態から操作する場合は、運転スイッチを除くいずれかのボタンを一度押して表示部を表示させた後、各操作を行ってください。

点火

運転を開始します。

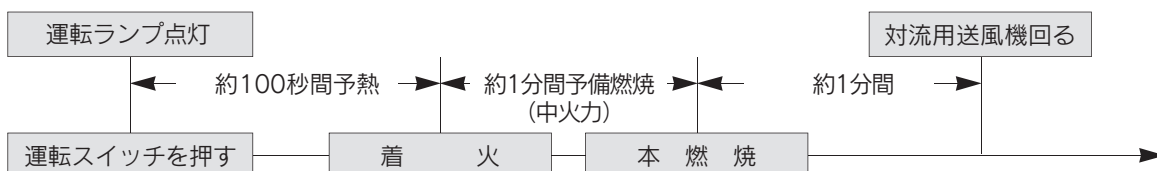


1 油タンクの送油バルブを開く



2 運転入切を押して「入」にする

- 運転ランプと表示部のバックライトが点灯し、温度が表示され、約 100 秒間予熱後、着火します。
(室温・外気温により着火までの時間は変動します。)
- 着火後、約 1 分間予備燃焼を行い、本燃焼へ移行します。
本燃焼へ移行して約 1 分経過後に対流用送風機が回ります。



■ 炎の状態

1. 大燃焼時の炎の状態

- 燃焼中赤い横線が見えますが点火プラグとフレームセンサーが赤熱しているため異常ではありません。
- 点火後しばらく黄色みがかった炎やピンク色の炎が混じることがあります。空気中のほこりなどによるものです。また、燃焼中瞬間的に赤い炎が出ることがありますが、油配管中の空気によるもので異常ではありません。

2. 微小燃焼時の炎の状態

微小燃焼時は条件により変化します。

- 空気量の割合が多めの場合、バーナーが一部赤熱するため赤紫色の炎になります。耐熱材料を使用しているため、性能・品質に異常はありません。
- 空気量の割合が少なめの場合、青い炎となります。

詳しくは別紙「炎の状態について」をご覧ください。

お願い

- 初めてのご使用時や油切れを起こした後は、
 - ・『OIL』のチェックモードが表示されることがあります。
 - ・運転スイッチをいったん「切」にしてから、再点火操作をしてください。
 - ・点火の際、一時的に大きく赤い炎が出ますが、送油経路内の空気が抜けるためで異常ではありません。
- 初めてのご使用時や油切れを起こした後の点火の際など 1 回で点火しない場合があります。この場合は自動的に点火を 3 回繰り返します。それでも点火しない場合は『E-03』のチェックモードが表示されます。
- 運転スイッチをいったん「切」にし、送油経路内の空気抜きを行ってください。 **15ページ**
- 点火時に「ジー」という音が出ますが、点火のスパークの音で異常ではありません。
- 運転スイッチを「入」にし、液晶表示部に『E-19』のチェックモードが表示された場合は、排気管の接続が不十分である、または、排気管抜け検知リード線が正しく接続されていないためです。
- 運転スイッチをいったん「切」にし、ストーブが停止してから点検してください。排気管を確実に接続してから、再点火操作をしてください。 **43ページ**

バックライト（照明）および時刻表示の設定について

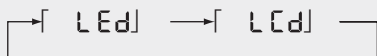
出荷時設定について、ストーブ運転中のバックライト（照明）は点灯、停止時は消灯としています。「LEd on」また、ストーブ停止中に 2 分間以上ボタン操作をしない場合は、省電力表示機能により時刻表示が消えます。

●「LEd OFF」

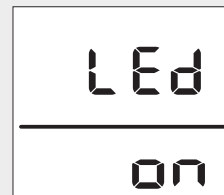
運転スイッチが「入」の場合でもバックライト（照明）を消灯させたいときや、運転スイッチが「切」の場合でも常に時刻表示させたいときは、以下の手順を参考にして設定してください。

- ①運転スイッチが「切」のときにタイマーボタンを 5 秒間以上押してください。
 - ②「ピッ」というブザー音が鳴り、液晶表示部の表示が「LEd on」へ切り換ります。
- （注）設定を変更した後の操作の場合は、変更した内容が表示されます。

③「LEd on」の状態から設定切換ボタンを押すごとに上段の表示は、

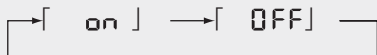


と切り換ります。



※設定時の初期表示です。

④温度・時刻設定ボタンの右側『あげる△』『さげる▽』を押すごとに下段の表示は、



と切り換ります。

	LEd on	LEd OFF	LEd on	LEd OFF
運転スイッチ「入」時のバックライト	[ON] (※)	[OFF]	-	-
運転スイッチ「切」時の時刻表示	-	-	[ON]	[OFF] (※)

※出荷時設定

⑤設定したい内容を表示させてタイマーボタンを押し、通常表示に戻せば設定完了です。（10 秒間操作がない場合も通常表示に戻ります。）

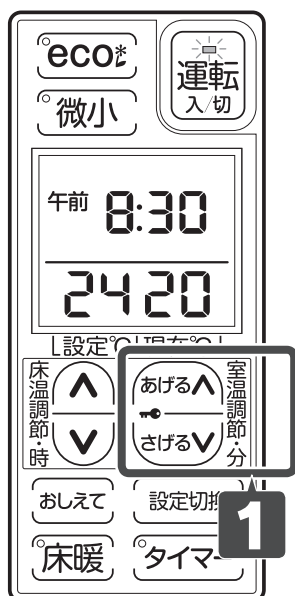
※バックライトを消灯させる設定にすると、運転スイッチが「入」の場合でもバックライトは点灯しません。（操作時は除く）表示を確認する場合は、運転スイッチ以外のいずれかのボタンを押して、バックライトを点灯させてください。

※時刻合わせをしていないとバックライト（照明）および時刻表示の設定はできません。先に時刻合わせを行ってください。 **24ページ**

使用方法

火力の調節

自動運転 設定温度と現在温度に応じて、自動的に火力を変え運転します。



1



を押してお好みの室温を設定する

- 出荷時ストーブは自動運転の「20」℃に設定してあります。
- 手動運転で「手動」表示が表示されている場合、温度・時刻設定ボタンの『さげる▼』を繰り返し押して、「手動」表示を消灯させ、お好みの室温を設定します。
- ボタンを1回押すと設定温度が点滅表示し、さらに押すごとに室温が1℃ずつ変化します。
- 設定温度表示部が火力表示…「P2」「P1」「Lo」から「32」「31」…という温度の数字になります。
- 「手動」表示が消灯している場合は、『上げる▲』または『さげる▼』ボタンを押して、お好みの室温を設定してください。
- 室温の設定範囲は「12～32」℃です。
- 現在温度は「1～36」℃の範囲で表示されます。ただし、現在温度が1℃未満で「Lo」、36℃を超えると「Hi」の文字表示となります。
- 設定温度の数字は室温のめやすです。設置条件によっては必ずしも室温と一致しません。設定温度は一度設定すれば記憶され、停電の場合でも記憶しています。
- 10秒間操作がない则表示されている温度で設定されます。(点滅表示から点灯に変わります。)
- 自動運転では消火は行わないため、比較的暖かい時期や設置条件によっては設定温度より室温が上がる場合があります。この場合は、**eco+** (エコプラス) 運転をご使用ください。燃焼・消火を繰り返し、室温を調節します。 **28～30ページ**

火力の調節

手動運転 設定した火力で運転を続けます。室温による火力調節はしません。



1



を押してお好みの火力を設定する

- 自動運転で「手動」表示が消灯している場合、温度・時刻設定ボタンの『**上げる**』を繰り返し押し、「手動」表示を表示させ、お好みの火力を設定します。
- ボタンを1回押しと設定火力が点滅表示し、さらに押しごとに火力が1段ずつ変化します。
- 設定温度表示部が温度の数字…「31」「32」から「Lo」「P1」「P2」…という火力表示になります。
- 「手動」表示が表示している場合は、『**上げる**』または『**さげる**』ボタンを押して、お好みの火力を設定してください。
- 火力は「Lo」が微小、「P1」～「P4」が小、「P5」～「P9」が中、「Hi」が大というめやすです。
- 現在温度は「1～36」℃の範囲で表示されます。ただし、現在温度が1℃未満で「Lo」、36℃を超えると「Hi」の文字表示となります。
- 火力は一度設定すれば記憶され、停電の場合でも記憶しています。
- 10秒間操作がないと表示されている火力で設定されます。(点滅表示から点灯に変わります。)
- **eco+**(エコプラス) 運転から手動運転にする場合は、**eco+**(エコプラス) 運転を解除してから行ってください。

お願い

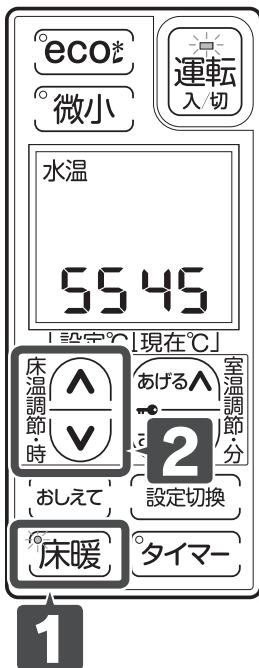
- ストープの据付けや給排気筒の設置条件により、炎が微妙な変化をします。青い炎の中に多少の黄色い炎が混じっても異常ではありません。
- ストープの前面には温風をさまたげる障害物を置かないでください。障害物があると温風が回り込み、室温調節が正しく働かない場合があります。
- 燃焼中「カチカチ」音がすることがありますが、電磁ポンプの運転音で異常ではありません。
- 燃焼中に再点火動作することがありますが、安全装置が働いた場合や瞬間的な停電によるもので異常ではありません。
- 設定室温や火力を大きく切り替えると対流用送風機の音が大きくなる場合がありますが、ストープの特性上のもので異常ではありません。
- 室温調節が正しく働かないときは、室温サーミスタ(ルームセンサー)を適切な場所に移動してください。[54ページ](#)
- 室温サーミスタ(ルームセンサー)は直接ストープに取り付けしないでください。室温調節が正しく働かないだけでなく、**eco+**(エコプラス) 運転の場合、室温より高い温度で感知し、点火・消火を頻繁に繰り返して故障の原因になります。

使用方法

床暖房運転(床暖房併用運転)

床暖内蔵タイプ

ストーブの廃熱を利用して、床暖房運転します。



1

運転 入切

が「入」のときに「床暖」を押す

- 床暖ランプが点灯します。



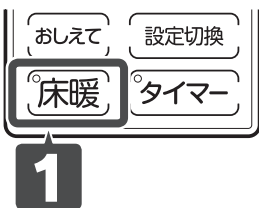
2



を押して好みの水温を設定する

- 水温設定中は「水温」表示が表示します。
- 『↑』または『↓』ボタンを押すと液晶表示部が設定水温表示に切り換え、設定温度表示部に設定水温、現在温度表示部に現在水温が表示されます。
- ボタンを1回押すと設定水温が点滅表示し、さらに押すごとに水温が1℃ずつ変化します。
- 水温の設定範囲は「40～60」℃です。
- 現在水温は「20～65」℃の範囲で表示されます。ただし、現在水温が20℃未満で「Lo」、65℃を超えると「Hi」の文字表示となります。
- 水温調節は循環水の温度を調節するもので、数字は水温のためです。床面温度を調節するものではありません。
- 床表面温度はカーペットなどの種類によって、循環水の温度より10～20℃低くなります。
- 設定水温は一度設定すれば記憶され、停電の場合でも記憶しています。
- 10秒間操作がないと表示されている水温で設定されます。（「水温」表示が消灯し、現在時刻が表示され温度または火力表示に切り換ります。）

床暖房停止



1

「床暖」を再度押す

- 床暖ランプが消灯します。

ご注意

- 水温調節は部屋の温度調節ではありません。水温を上げすぎないように注意してください。
- 凍結防止および腐食防止のために当社純正の不凍液をご使用ください。

お願い

- 床パネルの枚数が多い場合、設定水温まで上がらないことがあります。
- 自動運転の場合、室温を優先して火力を制御しますので、設定水温まで上がらなかったり、設定水温より高くなる場合があります。
- 点火・消火・床暖房運転のとき、キシミ音がすることがありますが、金属の膨張・収縮音で異常ではありません。
- 床暖房運転にした場合や床暖房運転せずに大燃焼を継続した場合、一時的に「ゴボツ」という循環水中の蒸気が抜ける音がしますが、異常ではありません。
- 以下の場合には沸騰音がありますが、一時的なもので異常ではありません。
 - ・ 負荷（床パネルの枚数、外気温など）が小さいのに火力が大きいつき、または設定水温が高いとき。
 - ・ 室温が-10℃以下に冷え込んだとき。（ストーブとは別に床パネルの敷設してある部屋や、床パネルへの温水配管を通してある場所が-10℃以下に冷え込んだときも同じです。）
 - ・ ストーブ単独運転から床暖房併用運転に切り替えたとき。
- 床暖の温度調節はダンパーの開閉で行っているため、ダンパー作動時には音がすることがありますが、異常ではありません。
- 床パネルを敷いていない状態では絶対に床暖房運転にしないでください。

消火

運転を停止します。



1

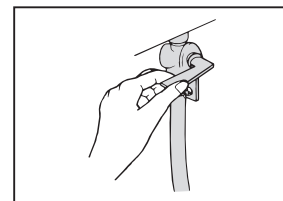
運転
入切

を再度押して「切」にする

- 運転ランプと表示部のバックライトが消灯します。また、設定温度と現在温度も消灯します。

2

油タンクの送油バルブを閉じる



3

消火を確認する

- 対流用送風機は、ストーブが冷えるまで回り続けます。
UFH-703SX(床暖内蔵ビルトイン) : 約10分間
UFH-703RX(床暖内蔵ウォームトップ) : 約 5分間
FFR-703SX(ビルトイン) : 約 5分間
FFR-703RX(ウォームトップ) : 約 5分間

ご注意

- 長期間留守にするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは対流用送風機が停止してから抜いてください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止しないでください。
ストーブが過熱し、故障の原因になります。
- お出かけになるときは、必ず運転スイッチを「切」にして消火してください。

使用方法

時刻合わせ

初めて使用するときや停電後、時刻表示は『 -:- - 』を表示しますので、時刻合わせをしてください。



停止中でも運転中でも合わせることができます。

1 設定切換 を1回押して、時計合せを表示させる

- 運転中の場合は、設定温度と現在温度または火力が消灯します。

2 上下ボタンを押して時刻を変更する

- 左側の『↑』ボタンを押すと時が順に進み、『↓』を押すと時が逆に進みます。
- 右側の『あげる↑』ボタンを押すと分が順に進み、『さげる↓』を押すと分が逆に進みます。
- ボタンを押し続けると早送りになります。
- 10秒間操作がない则表示されている時刻で設定されます。(「時計合せ」が消灯し、現在時刻表示になります。)
運転中の場合は、設定温度または火力と現在温度が表示されません。
- 10時間程度の停電の場合、現在時刻は記憶しています。それ以上の停電時間では記憶が解除されますので、再設定してください。

ご注意

- 停電前に1日以上通電されている(電源プラグがコンセントに差し込まれている状態)場合は、10時間程度の停電でも現在時刻を記憶していますが、停電前の通電時間が1日未満の場合や経年劣化により、記憶している時間が短くなる場合があります。

タイマー運転

タイマー時刻合わせ

寒い朝などおめざめ前にお好みの時刻に運転を開始したり、eco^おの運転モードを切り換えたりすることができます。

停止中でも運転中でも合わせることができます。



1 設定切換 を2回押して、タイマー合せを表示させる

- 運転中の場合は、設定温度と現在温度または火力が消灯します。

2 上げる↑ さげる↓ を押し時刻を変更する

- 左側の『↑』ボタンを押すと時が順に進み、『↓』を押すと時が逆に進みます。
- 右側の『上げる↑』ボタンを押すと分が順に進み、『さげる↓』を押すと分が逆に進みます。
- ボタンを押し続けると早送りになります。
- 10秒間操作がないと表示されている時刻で設定されます。(「タイマー合せ」が消灯し、現在時刻表示になります。)
運転中の場合は、設定温度または火力と現在温度が表示されます。
- タイマー時刻は一度設定すると記憶されますので、次から設定する必要はありません。
- 停電の場合でもタイマー時刻は記憶していますので、再通电後に再設定する必要はありません。

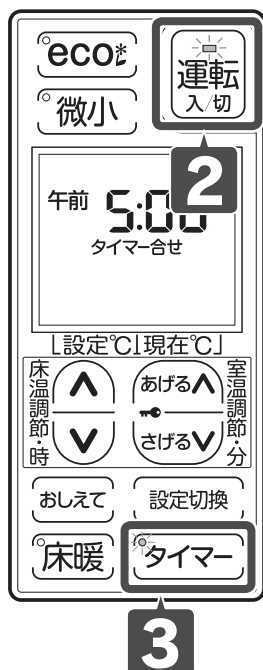
ご注意

- 時刻合わせをしていないと、設定切換ボタンを押してもタイマー時刻合わせができません。

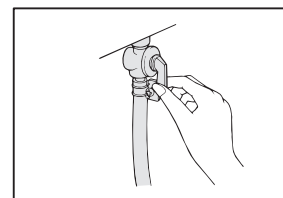
使用方法

タイマー運転

タイマー点火



1 油タンクの送油バルブを開く



2 運転入切を押して「入」にする

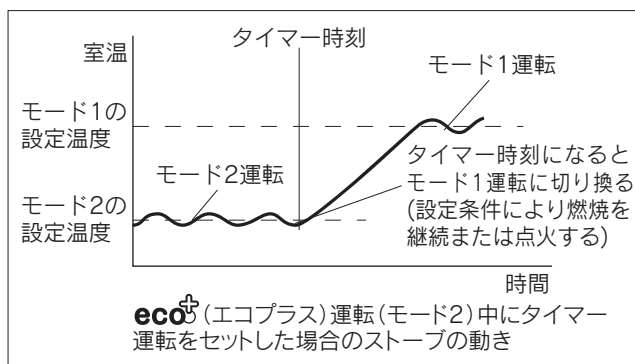
- 運転ランプが点灯します。
- 燃焼中にセットする場合は、3の操作から行ってください。

3 タイマーを押す

- タイマーランプが点灯します。
- 10 秒間液晶表示部に「タイマー合せ」とタイマー時刻を表示し、その後バックライト(照明)が消灯します。
(燃焼中にセットする場合は、バックライトの消灯と共に運転ランプが点滅し消火します。ストーブが冷えると運転ランプは点灯に変わります。ただし、eco+ (エコプラス) 運転(モード 2)中にタイマーをセットした場合は、バックライトは消灯しますが運転を続けます。)
- 「タイマー合せ」表示中はタイマー時刻を設定することができます。

4 お好みの運転を設定する

- 自動/手動運転・eco+ (エコプラス) 運転・ワンタッチ微小運転を設定することができます。
- 自動/手動運転・eco+ (エコプラス) 運転(モード 1)・ワンタッチ微小運転のタイマー運転は、タイマー時刻に運転を開始します。
- eco+ (エコプラス) 運転(モード 2)中にタイマー運転をセットすると、タイマー時刻まで eco+ (エコプラス) 運転(モード 2)を続け、タイマー時刻に eco+ (エコプラス) 運転(モード 1)に切り換ります。



タイマー運転の解除



1



を再度押して「切」にする

- タイマーランプが消灯します。
- **eco+** (エコプラス) 運転 (モード2) で燃烧中に運転スイッチを再度押すと、消火します。

お願い

- タイマー時刻前に点火する場合は、再度タイマーボタンを押して、タイマーランプを消灯させてください。(設定温度または火力と現在温度が表示され、バックライトが点灯します。)
- **eco+** (エコプラス) 運転 (モード2) を継続する場合は、再度タイマーボタンを 1 回押して、タイマーランプを消灯させてください。(バックライトは点灯に変わります。)

ご注意

- 運転スイッチが「入」になっていないとタイマー運転を受け付けません。
- 時刻合わせをしていないとタイマー運転はできません。先に時刻合わせを行ってください。
- お好みの運転の設定はタイマーボタンを押す前にもできます。
- タイマー運転をする場合は、周囲に可燃物や、その他危険な状態のないことを確認してください。
- お出かけのときはタイマー運転をしないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。
- **eco+** (エコプラス) 運転 (モード2) 中にタイマーセットをした後に、eco (エコ) ボタンを押して **eco+** (エコプラス) 運転 (モード2) を解除すると消火し、eco (エコ) ボタンを押した回数により通常運転 (自動運転) または **eco+** (エコプラス) 運転 (モード1) でタイマー時刻に点火します。
- 停電したときや運転中にチェックモードが表示されたときは、タイマー運転は解除されます。

使用方法


eco⁺ (エコプラス) 運転 (自動運転時)

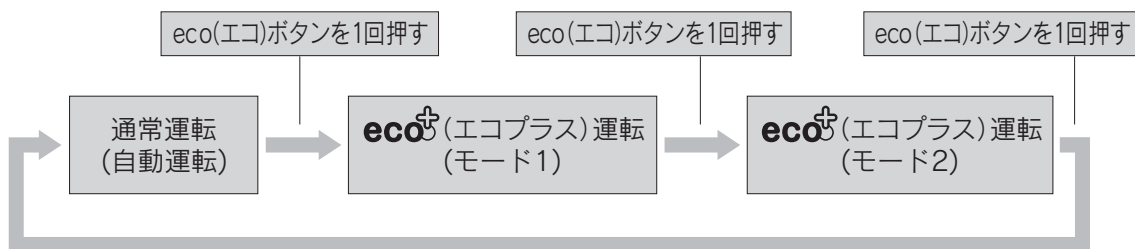
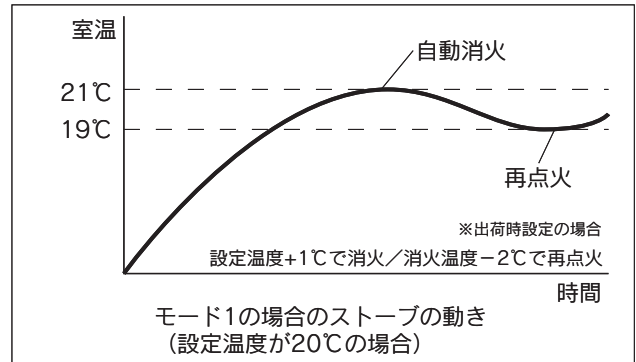
モード1

- 比較的暖かい時期など、設定温度より室温が上がりすぎるときにご使用ください。燃焼・消火を繰り返し、室温を調節します。(室温が 12℃～32℃の任意の温度になるように調節します。)



1 eco⁺ を1回押す


- eco (エコ) ランプ (緑) が点灯します。また「」マークが表示されます。
- 室温が設定温度 +1℃と同じまたはそれ以上の状態が 20 秒間続くと、運転ランプと eco (エコ) ランプ (緑) が点滅となり、消火します。(ストーブが冷えると運転ランプは点灯に変わりますが、eco (エコ) ランプは点滅を継続します。)
- 再点火は室温が設定温度より 1℃低くなったとき、eco (エコ) ランプが点滅から点灯に変わり、点火します。消火・点火温度条件は調節できます。 [30ページ](#)
- eco⁺ (エコプラス) 運転は燃焼・消火を繰り返しますので、室温の変動が大きくなります。



eco⁺ (エコプラス) 運転 (モード1) の解除



1 eco⁺ を2回押す

- eco (エコ) ランプ (緑) と「」マークが消灯します。
- モード1 から eco (エコ) ボタンを1回押した場合はモード2になります。




- eco⁺ (エコプラス) 運転はワンタッチ微小運転にしますと自動的に解除されます。

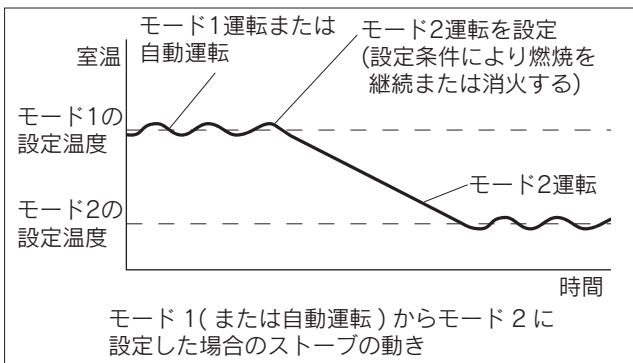
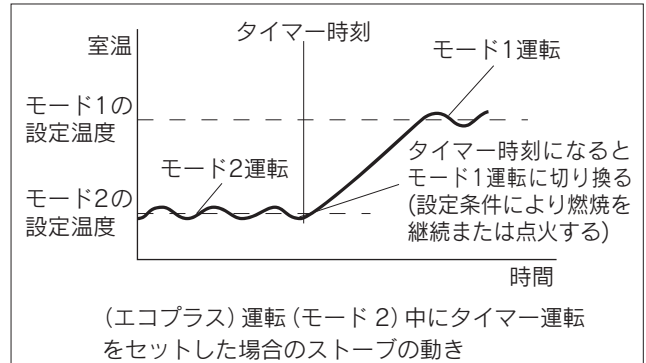
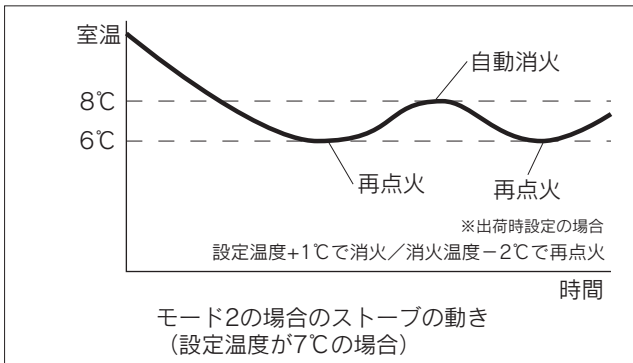
モード2

- 設定温度を低めにしたときにご使用ください。燃焼・消火を繰り返し、室温を調節します。
(モード1の室温設定範囲の下限は12℃ですが、モード2では3℃となります。)



1 eco+ を2回押す

- モード1から設定する場合は1回押します。
- eco (エコ) ランプ (赤) が点灯します。また「」マークが表示されます。
- 室温が設定温度 +1℃と同じまたはそれ以上の状態が20秒間続くと、運転ランプとeco (エコ) ランプ (赤) が点滅となり、消火します。(ストーブが冷えると運転ランプは点灯に変わりますが、eco (エコ) ランプは点滅を継続します。)
- 再点火は室温が設定温度より1℃低くなったとき、eco (エコ) ランプが点滅から点灯に変わり、点火します。
消火・点火温度条件は調節できません。[30ページ](#)
- eco+ (エコプラス) 運転は燃焼・消火を繰り返しますので、室温の変動が大きくなります。
- 出荷時の設定温度は「5」℃に設定してあります。
- 室温の設定範囲の最低温度は「3」℃、最高温度は【自動運転時の設定温度 -1】℃です。
- 設定温度は一度設定すれば記憶され、停電の場合でも記憶しています。
- 自動運転時の設定温度を変更して本モードの設定温度より低くなった場合は、【自動運転時の設定温度 -1】℃として自動的に再設定されます。
- 10秒間操作がないと表示されている温度で設定されます。
- eco+ (エコプラス) 運転 (モード2) 中にタイマー運転をセットすると、タイマー時刻まで eco+ (エコプラス) 運転 (モード2) を続け、タイマー時刻に eco (エコ) 運転 (モード1) に切り換ります。



使用方法

eco (エコプラス) 運転(モード2)の解除



1 eco を1回押す

- eco (エコ) ランプ(赤)と「*」マークが消灯します。

- eco (エコプラス) 運転はワンタッチ微小運転にしますと自動的に解除されます。
- eco (エコプラス) 運転(モード2)からタイマーを使って好みの時刻に eco (エコプラス) 運転(モード1)へ切り換えることができます。

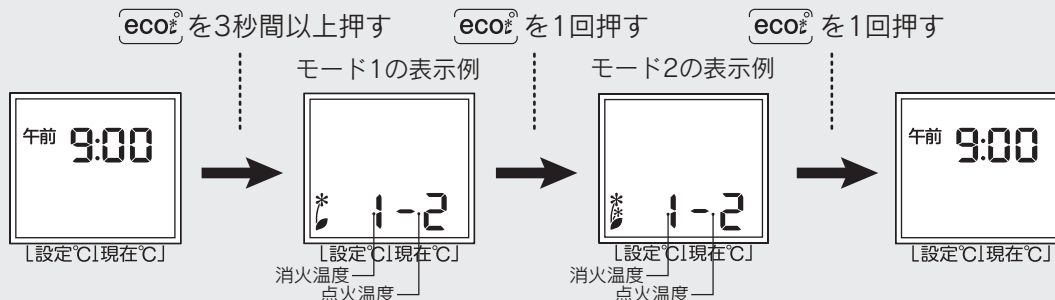
ご注意 (モード1・モード2 共通)

- eco (エコプラス) 運転は、手動運転中や微小ボタンを押した状態(ワンタッチ微小運転中)では受け付けません。
- eco (エコプラス) 運転から手動運転にすることはできません。
- eco (エコプラス) 運転は消火・点火を繰り返すため、通常運転に比べ消費電力が大きくなる場合があります。
- eco (エコプラス) 運転(モード2)中にタイマー運転をセットしている場合は、バックライトは消灯し点火・消火を行います。
- eco (エコプラス) 運転は一度セットすると記憶されます。運転スイッチを「切」にして消火しても解除されません。
- 停電したときや運転中にチェックモードが表示された場合でも、eco (エコプラス) 運転は解除されません。

eco (エコプラス) 運転時の消火・点火温度条件の調節について

eco (エコプラス) 運転のモード1とモード2それぞれの消火・点火の温度条件を調節することができます。以下の手順を参考にして設定してください。

- ① 運転スイッチが「切」のときに eco (エコ) ボタンを3秒間以上押してください。
 - ② 「ピッ」というブザー音が鳴り、液晶表示部の表示がモード1の設定値へ切り換ります。(液晶表示部に「*」マークが表示されます。)
 - ③ 温度・時刻設定ボタンの左側「↑」「↓」を押して、モード1の「消火温度※1」を変更します。(「0」～「3」の間で設定できます。出荷時は「1」になっています。)
 - ④ 温度・時刻設定ボタンの右側「あげる↑」「さげる↓」を押して、モード1の「点火温度※2」を変更します。(「-3」または「-2」の間で設定できます。出荷時は「-2」になっています。)
 - ⑤ eco (エコ) ボタンを1回押すと設定され、液晶表示部の表示がモード2の設定値へ切り換ります。(液晶表示部に「*」マークが表示されます。)
 - ⑥ モード2の「消火温度」と「点火温度」を③と④の要領で変更できます。
 - ⑦ eco (エコ) ボタンを1回押して通常の表示に戻せば、設定完了です。
- ※1…「消火温度」は室温が設定温度から何℃上昇すれば消火するかを決めます。
 ※2…「点火温度」は室温が「消火温度」から何℃低下すれば再点火するかを決めます。
- (注1) 何も操作しない状態が10秒間続いたり設定値を変更して10秒間操作がないと、表示されている値で設定され通常の表示に戻ります。この場合は、最初からやり直してください。
- (注2) 時刻合わせをしていないと消火・点火温度条件の調節ができません。先に時刻合わせを行ってください。 **24ページ**



(例) 上記モード1の設定(消火温度設定「1」、点火温度設定「-2」)で設定温度が「20℃」の場合は、

- ・点火温度…19℃
 - ・消火温度…21℃
- となります。

		(出荷時)				(出荷時)	
		0	1	2	3	-3	-2
消火温度 (設定温度に対して)	±0℃	+1℃	+2℃	+3℃		-3℃	-2℃
		点火温度 (消火温度に対して)					

ワンタッチ微小運転

ワンタッチで微小運転したいときにお使いください。
最小火力で燃焼し続けます。



1 微小 を押す

- 微小ランプが点灯し、設定温度表示が『Lo』に切り換ります。
- 自動運転・手動運転・eco+（エコプラス）運転からワンタッチ微小運転にすることができます。（eco+（エコプラス）運転から微小ボタンを押すと、eco+（エコプラス）運転は解除されます。）

ワンタッチ微小運転の解除

1 微小 を再度押す

- 微小ランプが消灯し、微小ボタンを押す前に表示していた設定温度または火力を表示します。

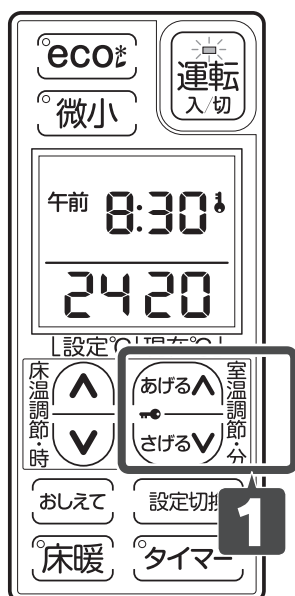
ご注意

- ワンタッチ微小運転にすると、床暖房運転時に設定水温まで上がらない場合があります。
- ワンタッチ微小運転にすると、eco+（エコプラス）運転はできません。
設定されていた eco+（エコプラス）運転は解除されます。
- ワンタッチ微小運転は『あげる△』『さげる▽』ボタンは受け付けません。
- eco+（エコプラス）運転（モード1・モード2）からワンタッチ微小運転にしていた場合は、ワンタッチ微小運転を解除すると自動運転になります。
- 停電の場合でも、ワンタッチ微小運転は解除されません。

使用方法

チャイルドロック

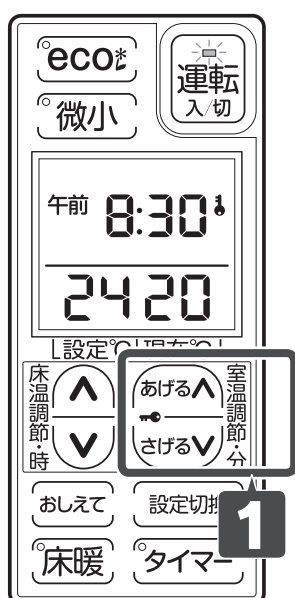
お子様などによるいたずら操作の防止や、誤って運転スイッチを押しても点火しないようにしたいときに使用します。



1 あげる↑
さげる↓ を3秒間以上同時に押す

- 「ピー」とブザー音が鳴り、『』を表示します。
- 運転スイッチを「切」にすること以外の操作ができません。

チャイルドロックの解除



1 あげる↑
さげる↓ を再度3秒間以上同時に押す

- 「ピッ」とブザー音が鳴り、『』が消灯します。

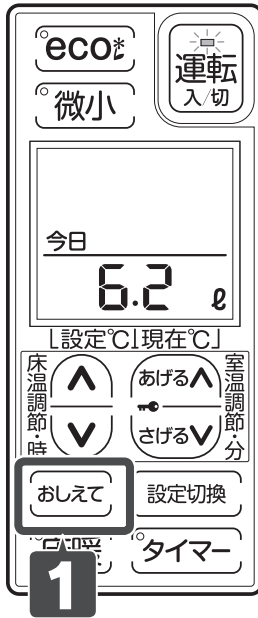
お知らせ

- 停電したときや運転中にチェックモードが表示された場合でも、チャイルドロックは解除されません。
- 室温や火力の設定などストップの設定中は、チャイルドロックにすることはできません。
- チャイルドロックを設定中でも、運転・停止状態にかかわらずいずれかのボタンを押すとバックライトは点灯します。

おしえてNavi (ナビ)機能

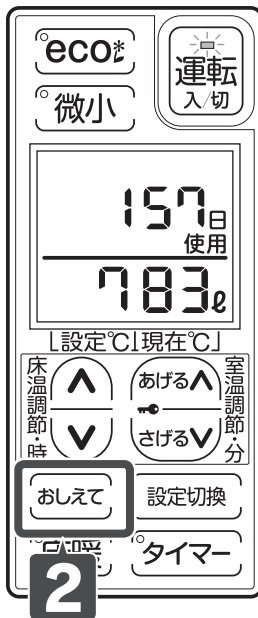
灯油の使用量やストーブの使用日数を表示します。

停止中でも運転中でも表示させることができます。



1 おしえて を1回押す

- 液晶表示部が「今日積算モード」表示に切り換ります。
- 0時00分から23時59分までに使用した灯油量を表示します。
- 使用量は0.1L単位で表示し、0.1L未満の場合は「0」表示となります。
- 最大で「99.9」Lまで表示します。
- 「今日積算モード」表示からおしえてボタンを2回押すと、通常表示に戻ります。また、10秒間操作がないと、通常表示に切り換ります。

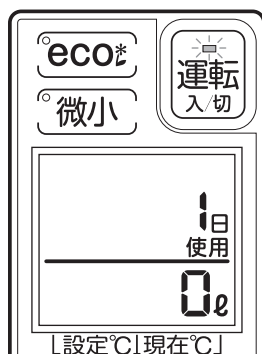
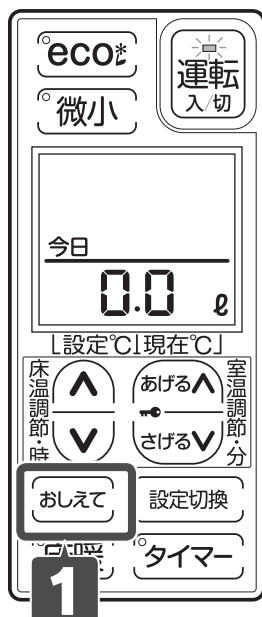


2 おしえて を再度1回押す

- 液晶表示部が「連続積算モード」表示に切り換ります。
- 現在までの灯油の使用量とストーブの使用日数を表示します。
- 灯油の使用量は1L単位で表示し、1L未満の場合は「0」表示となります。
- 0時00分から23時59分までに1度でもストーブの運転スイッチを「入」にすると、使用日数に積算されます。
- 灯油の使用量は最大で「9999」Lまで表示し、それを超えても「9999」Lのまま変化しません。
- 使用日数は最大で「1999」日まで表示し、それを超えても「1999」日のまま変化しません。その場合はリセットしてください。[34ページ](#)
- 「連続積算モード」表示からおしえてボタンを1回押すと、通常表示に戻ります。また、10秒間操作がないと、通常表示に切り換ります。

使用方法

積算値のリセット



1 リセットさせたい項目を表示させて、**おしえて** を3秒以上押す

- 今日の灯油使用量をリセットすると灯油の使用量が「0」にリセットされます。

- 積算の灯油使用量をリセットすると使用日数、灯油使用量が「0」になります。
- 積算の灯油使用量をリセットすると、「今日」の灯油使用量もリセットされます。

お知らせ

- 灯油使用量はめやすです。実際の使用量と一致しないことがあります。
- 灯油使用量・使用日数は記憶され、停電の場合でもリセットされません。

お願い

- 時刻合わせをしていない場合や停電などで現在時刻がリセットされた場合は、灯油の使用量・電力使用量・使用日数は表示されません。先に時刻合わせを行ってください。


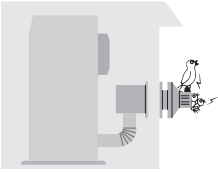
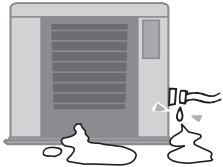
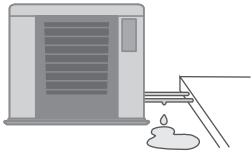
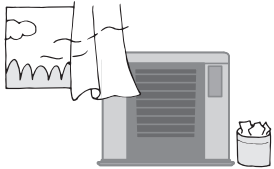
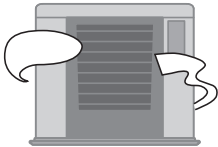
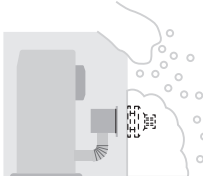
日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

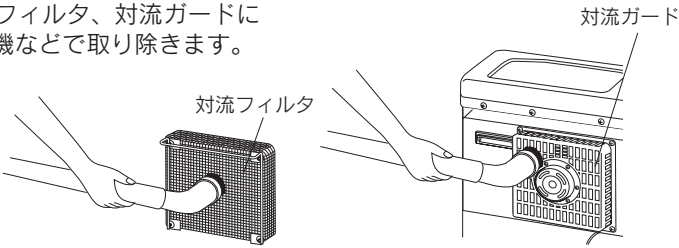
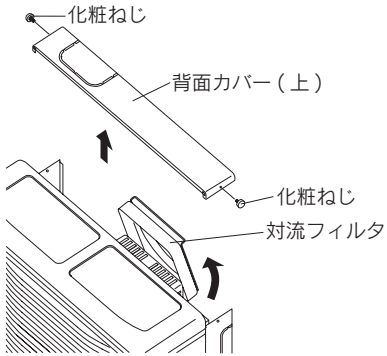
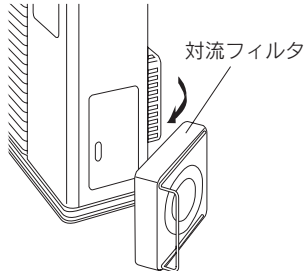
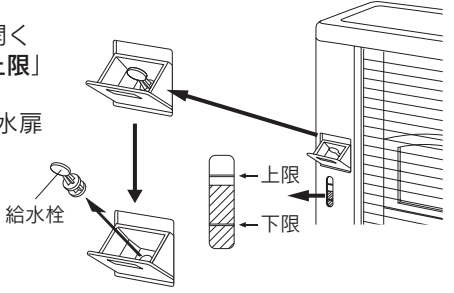
⚠ 注意

●必ず運転スイッチを「切」にしてストーブの運転を停止し、ストーブが冷えた状態で行ってください。

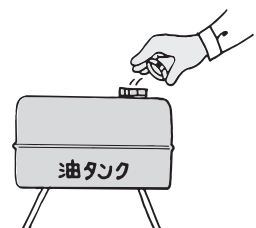
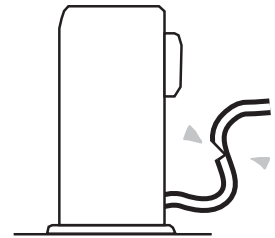
点検・手入れの必要事項、時期、方法

時期	点検・手入れ項目	方法
シーズンはじめ	給気ホース・排気管	<ul style="list-style-type: none"> ●給気ホース・排気管の接続箇所がはずれていないか点検します。 ●給気ホースが排気管にあたっていないか点検します。 
	給排気筒トップ	<ul style="list-style-type: none"> ●室外の給排気筒トップが、鳥の巣・ビニール袋などでふさがれていないか点検します。 
使用ごと	油漏れ・油のたまり・油のにじみ	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴム製送油管や置台に油漏れ・油のたまり・油のにじみがないか点検します。 
	床暖内蔵タイプ 水漏れ	<ul style="list-style-type: none"> ●温水配管に水漏れがないか点検します。 
	周囲の可燃物・引火物	<ul style="list-style-type: none"> ●ストーブの上・周囲・給排気筒トップの周囲に可燃物・引火物がないか点検します。 
	排ガスの漏れ	<ul style="list-style-type: none"> ●排ガスの臭いや、目がチカチカしないか点検します。排ガスが漏れていますと危険です。 
	給排気筒トップ	<ul style="list-style-type: none"> ●給排気筒トップが雪や氷でふさがれていないか点検します。ふさがれていると異常燃焼することがあり危険です。 

日常の点検・手入れ

時期	点検・手入れ項目	方法
週に1回以上	<p>対流フィルタ 対流ガード</p>	<p>● ストープ背面の対流フィルタ、対流ガードに付いたほこりを掃除機などで取り除きます。</p>  <p>対流フィルタのはずし方 (床暖内蔵ビルトインタイプの場合)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 背面カバー（上）を固定している左右の化粧ねじをはずし、背面カバー（上）をはずしてください。 2. 対流フィルタのとつてを持ち、対流フィルタをはずしてください。 3. 掃除終了後は、確実に取り付けてください。  <p>対流フィルタのはずし方 (上記以外の機種の場合)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対流フィルタのとつてを持ち、対流フィルタをはずしてください。 2. 掃除終了後は、確実に取り付けてください。 
	<p>床暖内蔵タイプ 循環水</p> <p>温水暖房用補充液（※）を補給してください。</p> <p>※不凍液中の防錆・防食成分は、使用していると空気中の酸素に触れ、徐々に低下していきます。それを補うのが温水暖房用補充液です。</p>	<p>● 循環水の水位を確認し、下限以下の場合は、次のように補給します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ストープ前面の給水扉を押して給水口を開く 2. 給水栓を抜いて、温水暖房用補充液を「上限」まで補給する 3. 補給が終わったら給水栓を差し込み、給水扉を閉める  <p>● 循環水の水位が「下限」以下まで低下しますと、「ピピッ」という警告音が鳴り床暖ランプが点滅します。この状態が 10 分間継続すると液晶表示部に『E-04』のチェックモードが表示されます。</p> <p>● ソフトパネル使用の場合、設置後、配管やパネル部材がなじむまで 1～3 ヶ月程度要します。水位が下がりやすくなっていますので、ときどき補充液を補給してください。給水栓を抜かないと、補給できません。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用しているときに、水位がいちじるしく低下する場合は、温水配管部の漏れを確認してください。 ● 循環水は「上限」以上補給しないでください。使用中に循環水があふれることがあります。 ● 不凍液での補給はしないでください。濃度が上がり故障の原因になります。

時期	点検・手入れ項目	方法
月に1回以上	<p>ストーブ外装</p> <p>安全のため、電源プラグはコンセントから抜いて行ってください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ストーブ・置台などのほこりや汚れは、乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。 ●シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。
	<p>ゴム製送油管 温水用ツインチューブ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴム製送油管や温水ツインチューブ(※)にひび割れが生じていないか点検します。少し曲げて、ひび割れや亀裂があった場合は交換してください。 ●ゴム製送油管や温水ツインチューブ(※)は経年劣化しますので3年に一度は新しい物に交換してください。 <p>※ 床暖内蔵タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交換はお買い求めの販売店に依頼、または最寄りの工場・支店・営業所にご相談ください。
1シーズンに2〜3回	<p>電源プラグ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグにほこりが付着していないか点検します。
	<p>油タンク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●油タンク内に水やゴミがたまっていないか点検します。 ●油タンク内の水抜き、ストレーナ(ろ網)の掃除は、油タンクに付属している取扱説明書に従って行ってください。



定期点検

- 機器は使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品がありますので、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所で定期点検を受けてください。

定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検を受けてください。

ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ(例えば、厨房室や製綿工場など)、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますのでお買い求めの販売店にご相談ください。

定期点検

定期点検は専門の技術者が、設置状態、給排気まわりの点検・安全装置および運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検などを行います。

安全にお使いいただくために、製品の状態を点検診断するものですから必ずを受けてください。

お申し込み先

お客様→お買い求めになった販売店または最寄りの工場・支店・営業所。

定期点検費用

定期点検の費用についてはお買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所にご相談ください。

定期点検の結果、部品交換および修理などが必要な場合は、処置内容および費用についてお客様にご相談申しあげます。

定期点検の内容

定期点検の内容	項目
設置状態、給排気まわりの点検・確認	<ul style="list-style-type: none">● 製品の設置・使用状態● 送油経路部の油漏れ(ゴム製送油管含む)● 給排気筒接続とつまり● 給排気筒トップのつまり● 温水経路部の水漏れ 床暖内蔵タイプ
安全装置および運転動作の点検・確認	<ul style="list-style-type: none">● 安全装置の働き● 運転動作の点検● 操作部品や動く部品の働き
環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	<ul style="list-style-type: none">● 給排気部品・排気管接続用Oリングなどの点検● バーナの点検● 各種送風機の点検● 各種パッキンの点検● ガラスの点検(劣化の状態により交換の場合もあります。)● 循環ポンプの点検 床暖内蔵タイプ
製品の清掃・整備	<ul style="list-style-type: none">● 本体内● 対流ガード・ファン● 油タンクの水抜き● 送油経路● 対流フィルタ
床暖内蔵タイプ 循環水の点検・交換	<ul style="list-style-type: none">● 循環水は温水暖房用補充液を補給した場合、6~7年をめやすに入れ替えてください。やむをえず水道水を補給した場合、2~3年をめやすに入れ替えてください。● 凍結防止および腐食防止のために当社純正の不凍液をご使用ください。

設計上の標準使用期間について

設計上の標準使用期間の表示と説明

- この機器の設計上の標準使用期間を8年と算定しており、適切な点検を行わず、この期間を超えて使用すると経年劣化による発火・けがなどの事故の原因になるおそれがあります。
- 設計上の標準使用期間とは、製品ごとに設定した設計的に想定した標準的な使用(下記のく設計上の標準使用期間の算定の根拠>参照)による使用期間をいいます。
- 設計上の標準使用期間を過ぎての製品の使用については、経年劣化により安全性が損なわれ、ひいては重大事故に至るおそれがあります。そのため設計上の標準使用期間は、使用者が不具合なく製品を使用している場合も点検・取替えの検討を開始するためのめやす(指針)とするものです。また、設計上の標準使用期間は、無料保証期間とは異なります。

設計上の標準使用期間の算定の根拠

この機器の設計上の標準使用期間は、製造年月を始期とし、日本産業規格 JIS S 2073 の「家庭用密閉燃焼式石油温風暖房機の標準加速モード及び試験条件」に基づき右表の標準使用条件を想定し、当社において耐久試験などを行った結果算出された数値などに基づき経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した期間を終期として、設計上の標準使用期間を設定しています。

標準使用条件

項目	条件
1. 年使用時間	2,500 時間
2. 換気回数	1回 / h
3. 使用条件	—
・ 電源電圧 / 周波数	100V / 50Hz/60Hz
・ 暖房設定温度	22℃

標準的な使用条件と異なる使用をした場合の留意点

- 製品の使用条件または使用頻度が、その根拠となった数値よりも高い場合
 - 製品が目的以外の用途で使用された場合
 - 標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合
 - 業務用(ホテル・喫茶店・理髪店・美容室・飲食店・事務所など)で使用した場合
 - その他経年劣化を特に進める事情が存在する場合
- 上記のような使用をした場合は、設計上の標準使用期間よりも短期間で製品が経年劣化し、安全上支障が生じるおそれが多くなります。

清掃などの日常的に行うべき保守の内容とその方法

- 製品を安全にご利用いただくためには、お客様においても日常的に清掃や安全確認を行っていただくようお願いいたします。
- 点検・手入れは必ず消火後、電源プラグを抜き、製品が冷えてから行ってください。
- 点検・手入れの際は手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・整備は絶対にしないでください。
- 油漏れなどの異常がある場合は、販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
- 詳しくは日常の点検・手入れの項を参照してください。

あんしん点検に関する事項

設計上の標準使用期間の8年になりましたらあんしん点検(有料)を受けてください。

- 点検料金について
 - ・点検費用はお客様にご負担いただくこととなります。
 - ・点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。
- 各地域の点検などに関するお問い合わせは、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所に対応します。
- あんしん点検では、その時点での技術基準に適合しているかを確認するもので、その後の安全を担保するものではありません。また、あんしん点検は整備ではありません。
- あんしん点検の結果、整備・修理が必要となった場合は、別途整備・修理費用が発生します。
- あんしん点検後、整備に必要な部品は補修用性能部品とは異なることがあります。
- あんしん点検の結果、修理が必要となった場合は修理が完了するまで使用できません。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次のような場合は故障ではありません。

	現象	原因
点火時・消火時	初めて使用するときやシーズン初めに、煙や臭いが出る	●耐熱塗料やほこりが焼けるためです。異常ではありません。
	運転開始時や停止時に、「ボコン」という音がする	●本体内部の加熱・冷却時に出る金属の膨張・収縮音です。異常ではありません。
	「ピチピチ」や「カンカン」という音がする	●本体内部の加熱・冷却時に出る金属の膨張・収縮音です。異常ではありません。
	点火後数秒間「ポッポツ」という音がする	●点火を確実にするため、15～20秒間程で正常になります。
	水が蒸発する「ジュツ」という音がする 床暖内蔵タイプ	●点火初期に発生する結露水が熱交換器内で蒸発するためです。異常ではありません。
燃焼時	瞬間的に炎が大きく広がる	●送油経路内に空気が入ったとき発生する現象です。異常ではありません。
	点火プラグ・フレームロッド・バーナーヘッドが赤くなる	●炎に熱せられ赤熱するためです。異常ではありません。
	炎が赤橙色に輝く	●青い炎が最良の燃焼状態ですが、炎色反応により炎が赤橙色に輝くためです。 ・海岸に近い所など空気中に塩分が多いためです。 ・空気中に浮遊じんが多いためです。異常ではありません。
	床暖房の温調に合わせて「ピチピチ」や「カンカン」という音が繰り返す 床暖内蔵タイプ	●床暖房用熱交換器に高温の排ガスが流れたり止まったりするために出る金属の膨張・収縮音です。異常ではありません。
	「カチカチ」という音がする	●電磁ポンプの運転音で、異常ではありません。
その他	ガラスが白くなる	●灯油中の成分がガラスに付着するためです。異常ではありません。
	暗いとき、リセットボタンを押す穴から赤い光が見える	●定油面器の油切れ検知装置の点滅光です。異常ではありません。
	液晶表示部に、1分毎に『88』または『888』を1秒間隔で5回点滅表示する	●点検時期お知らせ機能による点検時期のお知らせです。故障ではありません。 45ページ
	ストーブが停止後に何も表示しなくなった	●省電力表示中です。異常ではありません。 18ページ

異常が生じた場合は下表を参照して、お客様ご自身で処置してください。

原因	現象	運転ランプが点灯しない	点火しない	炎が立ち上がる	液晶表示部に表示されたチェックモード							処置の方法	参照ページ	
					E-00	E-03 E-05 Oil	E-CC CCCC (点滅)	E-02	E-07	E-16	E-19			E-04
電源プラグがコンセントから抜けている		●											●電源プラグをコンセントに確実に差し込む	17
油タンクに灯油がない			●			●							●油タンクに給油する	15
停電があった					●								●運転スイッチを押しなおす	42
油タンクの送油バルブが閉じている			●			●							●送油バルブを開く	42
定油面器の安全装置が作動している			●			●							●リセットボタンを押す	16
対流フィルタや対流ガードにほこりがたまっている								●					●掃除をする	36 42
対流フィルタがカーテンでふさがっている								●					●カーテンを取り除く	42
給排気筒トップの先端がふさがれている			●			●							●給排気筒トップ先端の遮へい物を取り除く	35 42
地震や強い衝撃があった							●						●ストーブ周囲、油漏れ、給排気筒を点検する	35 42
床暖内蔵タイプ 温水配管がつぶれている 温水バルブが閉じている									●				●つぶれをなおす ●温水バルブを開く	44
排気管が抜けている						●				●			●確実に接続する	42 43
床暖内蔵タイプ 循環水が不足している											●		●循環水を補給する	36 57

- 以上の方法で点検し、処置しても直らないときは使用を中止し、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。
- 修理をお申しつけのときには故障内容をできるだけ詳しく、また表示部に表示されるチェックモードをご連絡ください。

ご使用の前に

基本の使いかた

必要なときに

故障かな？と思ったら

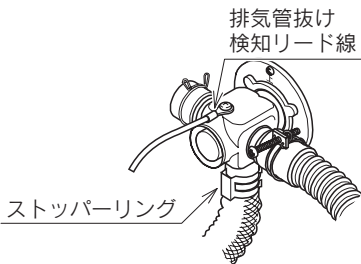
安全装置

異常が生じたとき、自動的に消火する装置です。

安全装置が作動した場合、運転スイッチを「切」にし、ストーブが冷えてから下記の処置をしてください。

安全装置のなまえ 作動の原因	チェックモード	処置の方法
対震自動消火装置 ●地震(震度5程度以上)のとき ●強い振動や衝撃を受けたとき	E-02	●ストーブの周囲や給気管・排気管のはずれや緩み、油漏れなどの異常がないことを確認し再点火操作してください。
停電安全装置 ●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき	E-00	●通電後、再点火操作してください。
過熱防止装置 ●対流フィルタや対流ガードにほこりがたまったり、対流フィルタがカーテンなどでおわれたとき	E-07	●対流フィルタや対流ガードの掃除や障害物などの原因を取り除いてから再点火操作してください。 36ページ
点火安全装置・燃焼制御装置 ●点火不良	E-03	●次のことを確認し、再点火操作してください。 ・油タンクの送油バルブが閉じられていないか。 ・ゴム製送油管に空気だまりがないか。 15ページ ・定油面器の安全装置が作動していないか。 16ページ ・再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
●途中で火が消えたとき	E-05	
不完全燃焼防止装置 ●異常燃焼したとき	積算作動回数1~3回 E-CC	●次のことを確認し、再点火操作してください。 ・給排気筒トップの先端がふさがれていないか。 35ページ ・再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
【連続不完全燃焼通知機能】 ●連続して不完全燃焼防止装置が作動したとき	積算作動回数4~6回 CCCC (点滅)	
【再点火防止機能】 ●連続して不完全燃焼防止装置が作動したとき	積算作動回数7回 CCCC (点灯)	●お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。 ●『CCCC』が点灯するとストーブが使用できなくなります。

その他の装置

安全装置のなまえ 作動の原因	チェックモード	処置の方法
排気管抜け検知装置 <ul style="list-style-type: none"> ● 排気管接続部のはずれ ● 排気管抜け検知リード線がはずれたり断線したりしたとき ● ストッパーリングが正しく取り付けられていないとき 	E-19	<ul style="list-style-type: none"> ● 排気管や排気管抜け検知リード線を点検し、確実に接続してから再点火操作してください。 ● ストッパーリングが正しく取り付けられているか確認してください。 
床暖内蔵タイプ 循環水検知装置 <ul style="list-style-type: none"> ● 循環水が不足したとき 	E-04	<ul style="list-style-type: none"> ● 補給後、再点火操作してください。 36ページ
油切れ検知装置 <ul style="list-style-type: none"> ● ストープに灯油がきていないとき 	OIL	<ul style="list-style-type: none"> ● 次のことを確認し、再点火操作してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 油タンクに灯油はあるか。 ・ 油タンクの送油バルブが閉じられていないか。 ・ ゴム製送油管に空気だまりがないか。 15ページ ・ 定油面器の安全装置が作動していないか。 16ページ

異常燃焼を長時間続けるとバーナ部などにカーボンが付着し、故障の原因となりますので、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
詳しくは別紙「炎の状態について」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

チェックモード

チェックモードに下記のような表示が出たときは、運転スイッチを「切」にし、ストーブが冷えてから下記の処置をしてください。



チェックモード表示部

チェックモード	原因	処置の方法
E-11	電磁ポンプが動く前に炎を検知した。 (フレームロッドの短絡)	●お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
E-12 E-22 E-24	予熱時に気化器サーミスタが一定の温度に達しなかった。	
E-13	運転中に気化器サーミスタが断線した。	
E-14	運転中に室温が異常高温になった。	
E-15	運転中に室温サーミスタが断線した。	●お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。 (修理までの間、強制的に手動運転となり、ストップ運転は可能です。その間は現在温度表示部に『EL』が点滅表示されます。)
床暖内蔵タイプ E-16	循環水が異常高温になった。 (自動的にストーブ単独の微小燃焼になります。) ・床パネルの設置枚数が少ない。 ・床パネルの放熱が悪い。 ・ツインチューブに折れ・つぶれがある。	●不具合箇所を直す。 再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。 (修理までの間、強制的に微小運転となり、ストップ運転は可能です。その間は現在水温表示部に『EH』が点滅表示されます。)
床暖内蔵タイプ E-17	水温サーミスタが断線した。 (自動的にストーブ単独の微小燃焼になります。)	●お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。 (修理までの間、強制的に微小運転となり、ストップ運転は可能です。その間は現在水温表示部に『EL』が点滅表示されます。)
E-18	燃焼用送風機が動作しなくなった。	●お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
E-25	気化器サーミスタが短絡した。	

チェックモード	原因	処置の方法
E-55	給気温サーミスタが断線した。	●お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
E-56	給気温サーミスタ短絡した。	
床暖内蔵タイプ E-71	ダンパーモータが動作しなくなった。 ダンパーマイクロスイッチが故障した。	

※現在温度表示部に『EH』の表示が出たときは、『E-16』を参照してください。
現在温度表示部に『EL』の表示が出たときは、『E-15』『E-17』を参照してください。

※床暖ランプの点滅 **床暖内蔵タイプ**
循環水が不足すると給水サインとして床暖ランプの点滅と「ピピツ」音を発しますので、この間に循環水を補給してください。
(循環水を補給しますと床暖ランプは点灯に変わります。)
補給されないときは10分後に『E-04』を表示して消火します。循環水を補給後、再点火操作してください。 **36・57ページ**

点検時期お知らせ機能

下記のチェックモードは点検時期お知らせ機能の表示です。故障ではありません。

- この機器には、点検時期お知らせ機能が搭載されております。
- ストーブの使用時間が設計上の標準使用期間の8年相当を経過すると表示部に『88』を表示(1分毎に1秒間隔で5回点滅)して、点検時期をお知らせします。
- 故障ではありませんのでご使用できますが、あんしん点検(有料)を受けてください。
- 点検に関するお問い合わせは、最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。点検のご案内をさせていただきます。
- あんしん点検を受けてから3年相当の使用期間が経過すると表示部に『888』を表示(1分毎に1秒間隔で5回点滅)して点検時期を再度お知らせします。

チェックモード	原因	処置の方法
1分毎に1秒間隔で 5回点滅表示する 88 888	点検時期になった (設計上の標準使用期間経過)	●故障ではありませんのでご使用できますが、あんしん点検(有料)を受けてください。 ●点検に関するお問い合わせは、最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。点検のご案内をさせていただきます。

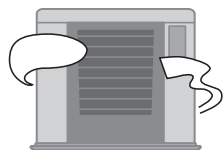
故障かな？と思ったら

このような状態のときは使用を中止し、油タンクの送油バルブを閉じて販売店にご連絡ください

- 使用される場所や条件または長期間の使用により、下記のような状態が見られる場合には使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。

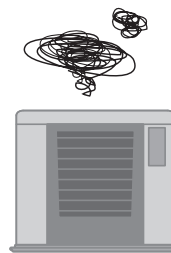
排ガスの臭いがしたり、目がチカチカしたりする

- 排ガスが漏れているおそれがあります。排ガスが室内に漏れていますと、危険です。



黒煙を出して燃える

- 異常燃焼しています。



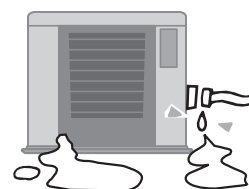
点火・燃焼・消火するときに「ボン」という大きな音がした

- ストーブが損傷したり、パッキンが飛散したりしているおそれがあります。



置台に油が漏れている

- 送油配管より油が漏れています。



部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

消耗、劣化しやすい部品

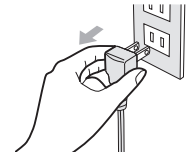
項目	内容
使用時間により交換が必要な部品	排気管接続用 O リング (FKM-70 (フッ素) (JIS B 2401-1) P40) 各種パッキン・ガラス・循環ポンプ (※) ※ 床暖内蔵タイプ
環境により劣化しやすい部品	給排気筒系部品・制御基板・スイッチング電源・燃焼用送風機 対流用送風機・ゴム製送油管
不良灯油を使用されて劣化しやすい部品	電磁ポンプ・定油面器・電磁弁

保管

●長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

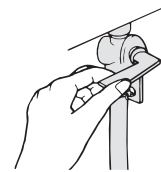
- ぬれた手で触らないでください。
感電のおそれがあります。



2 ストーブ外装、対流フィルタ、対流ガードの掃除をする 36・37 ページ

3 油タンクの送油バルブを閉じる

床暖内蔵タイプのストーブは、温水バルブ(行きバルブ、戻りバルブ)も閉じる



4 ストーブは据付けたまま保管する

- どうしても取りはずして保管するときは、湿気やほこりの少ないところに保管してください。
- 次シーズンに据え付けるときには、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。

仕様

型式の呼び		UFH-703SX	
種類		回転霧化式・強制給排気形・強制対流形・家庭用	
点火方式		電気点火	
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)	
燃焼状態		最大	最小
燃料消費量	床暖房・ストーブ同時運転	8.12kW(0.789L/h)	2.47kW(0.24L/h)
	ストーブ単独運転	7.00kW(0.68L/h)	2.47kW(0.24L/h)
発熱量	床暖房・ストーブ同時運転	29,230kJ/h	8,890kJ/h
	ストーブ単独運転	25,200kJ/h	8,890kJ/h
熱効率	床暖房・ストーブ同時運転	86.0%	86.0%
	ストーブ単独運転	86.0%	86.0%
暖房出力	床暖房・ストーブ同時運転	6.98kW	2.12kW
	ストーブ単独運転	6.02kW	2.12kW
最大床暖房出力		1.16kW	
本体水容量		1.2L	
床暖房用熱交換器の最高使用圧力		大気開放	
外形寸法		高さ615mm 幅741mm 奥行320mm (置台を含む)	
質量		35kg	
電流ヒューズ		筒型30mm 10A 1個(制御基板)、筒型20mm 7A 1個(制御基板)	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	床暖房・ストーブ同時運転	最大(点火時) 860/870W、燃焼時64/70W	
	ストーブ単独運転	最大(点火時) 860/870W、燃焼時44/42W	
待機時消費電力		0.4/0.4W	
電源コードの長さ		約2m	
給排気筒の型式の呼び		FWT-6Z-2	
給排気筒の呼び径		D40	
給排気筒の壁貫通部の孔径		80~85mm	
排気温度		260℃以下	
床パネルの接続面積		最大燃焼時12㎡(7.5畳)※、最小燃焼時5㎡(3畳)※	
温水配管接続口		外径 8mmタケノコ	
安全装置		対震自動消火装置・停電安全装置・温風過熱防止装置 点火安全装置・燃焼制御装置・不完全燃焼防止装置	
その他の装置		排気管抜け検知装置・循環水検知装置・油切れ検知装置	
付属品		壁固定金具・4×6ねじ・ワイヤーバンド大・ワイヤーバンド小・ゴム製送油管(1.2m) 給排気筒セット・排気管断熱カバー・ストッパーリング・ツインチューブ(2.5m) ワンタッチクランプ・4×25タッピングねじ・取扱説明書・工事説明書	

※温暖地の場合。寒冷地ではソフトパネル、金属パネルに関わらず3畳までとしてください。

ご使用の前に

基本の使いかた

必要なときに

仕様

型式の呼び		UFH-703RX	
種類		回転霧化式・強制給排気形・強制対流形・家庭用	
点火方式		電気点火	
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)	
燃焼状態		最大	最小
燃料消費量	床暖房・ストーブ同時運転	8.12kW(0.789L/h)	2.47kW(0.24L/h)
	ストーブ単独運転	7.72kW(0.75L/h)	2.47kW(0.24L/h)
発熱量	床暖房・ストーブ同時運転	29,230kJ/h	8,890kJ/h
	ストーブ単独運転	27,790kJ/h	8,890kJ/h
熱効率	床暖房・ストーブ同時運転	86.0%	86.0%
	ストーブ単独運転	86.0%	86.0%
暖房出力	床暖房・ストーブ同時運転	6.98kW	2.12kW
	ストーブ単独運転	6.64kW	2.12kW
最大床暖房出力		1.16kW	
本体水容量		1.2L	
床暖房用熱交換器の最高使用圧力		大気開放	
外形寸法		高さ595mm 幅741mm 奥行310mm (置台を含む)	
質量		33kg	
電流ヒューズ		筒型30mm 10A 1個(制御基板)、筒型20mm 7A 1個(制御基板)	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	床暖房・ストーブ同時運転	最大(点火時) 860/870W、燃焼時64/70W	
	ストーブ単独運転	最大(点火時) 860/870W、燃焼時46/44W	
待機時消費電力		0.4/0.4W	
電源コードの長さ		約2m	
給排気筒の型式の呼び		FWT-6Z-2	
給排気筒の呼び径		D40	
給排気筒の壁貫通部の孔径		80~85mm	
排気温度		260℃以下	
床パネルの接続面積		最大燃焼時12㎡(7.5畳)※、最小燃焼時5㎡(3畳)※	
温水配管接続口		外径 8mmタケノコ	
安全装置		対震自動消火装置・停電安全装置・温風過熱防止装置 点火安全装置・燃焼制御装置・不完全燃焼防止装置	
その他の装置		排気管抜け検知装置・循環水検知装置・油切れ検知装置	
付属品		壁固定金具・4×6ねじ・ワイヤーバンド大・ワイヤーバンド小・ゴム製送油管(1.2m) 給排気筒セット・排気管断熱カバー・ストッパーリング・ツインチューブ(2.5m) ワンタッチクランプ・4×25タッピングねじ・取扱説明書・工事説明書	

※温暖地の場合。寒冷地ではソフトパネル、金属パネルに関わらず3畳までとしてください。

型式の呼び	FFR-703SX	
種類	回転霧化式・強制給排気形・強制対流形・家庭用	
点火方式	電気点火	
使用燃料	灯油(JIS1号灯油)	
燃焼状態	最大	最小
燃料消費量	8.13kW(0.79L/h)	2.47kW(0.24L/h)
発熱量	29,270kJ/h	8,890kJ/h
熱効率	86.0%	86.0%
暖房出力	6.98kW	2.12kW
外形寸法	高さ615mm 幅741mm 奥行310mm (置台を含む)	
質量	30kg	
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz	
定格消費電力	最大(点火時)840/850W、燃焼時46/44W	
待機時消費電力	0.4/0.4W	
電源コードの長さ	約2m	
給排気筒の型式の呼び	FWT-6Z-2	
給排気筒の呼び径	D40	
給排気筒の壁貫通部の孔径	80~85mm	
排気温度	260℃以下	
電流ヒューズ	筒型30mm 10A 1個(制御基板)、筒型20mm 7A 1個(制御基板)	
安全装置	対震自動消火装置・停電安全装置・過熱防止装置・点火安全装置 燃焼制御装置・不完全燃焼防止装置	
その他の装置	排気管抜け検知装置・油切れ検知装置	
付属品	壁固定金具・4×6ねじ・ワイヤーバンド大・ワイヤーバンド小・ゴム製送油管 (1.2m) 給排気筒セット・排気管断熱カバー・ストッパーリング・4×25タッピングねじ 取扱説明書・工事説明書	

仕様

型式の呼び	FFR-703RX	
種類	回転霧化式・強制給排気形・強制対流形・家庭用	
点火方式	電気点火	
使用燃料	灯油(JIS1号灯油)	
燃焼状態	最大	最小
燃料消費量	8.13kW(0.79L/h)	2.47kW(0.24L/h)
発熱量	29,270kJ/h	8,890kJ/h
熱効率	86.0%	86.0%
暖房出力	6.98kW	2.12kW
外形寸法	高さ595mm 幅741mm 奥行310mm (置台を含む)	
質量	28kg	
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz	
定格消費電力	最大(点火時)840/850W、燃焼時46/44W	
待機時消費電力	0.4/0.4W	
電源コードの長さ	約2m	
給排気筒の型式の呼び	FWT-6Z-2	
給排気筒の呼び径	D40	
給排気筒の壁貫通部の孔径	80~85mm	
排気温度	260℃以下	
電流ヒューズ	筒型30mm 10A 1個(制御基板)、筒型20mm 7A 1個(制御基板)	
安全装置	対震自動消火装置・停電安全装置・過熱防止装置・点火安全装置 燃焼制御装置・不完全燃焼防止装置	
その他の装置	排気管抜け検知装置・油切れ検知装置	
付属品	壁固定金具・4×6ねじ・ワイヤーバンド大・ワイヤーバンド小・ゴム製送油管 (1.2m) 給排気筒セット・排気管断熱カバー・ストッパーリング・4×25タッピングねじ 取扱説明書・工事説明書	

据付け・移設

据付け・移設工事は販売店に依頼する

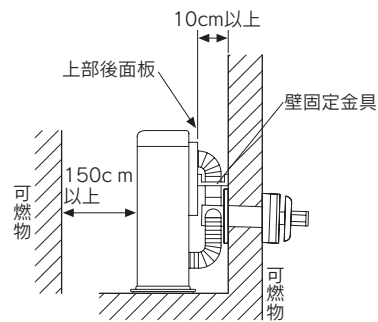
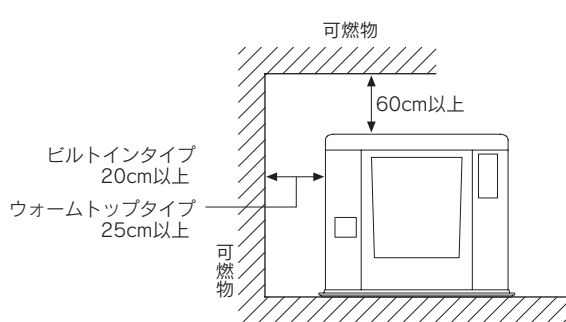
- 据付けや移設工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例・電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。また、「標準据付例」については下図をご覧ください。

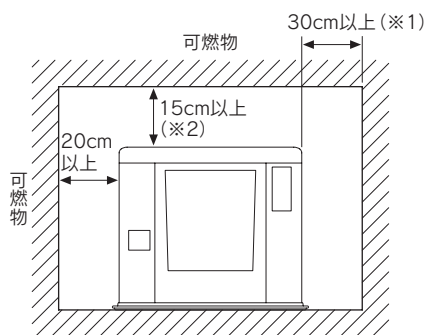
【機器から周囲の可燃物までの離隔距離】

- ・機器右側面と壁面は保守点検のため、30cm以上離してください。



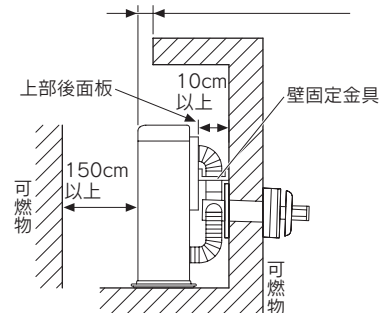
- マントルピースなどストーブが囲われる場所に設置する場合（ストーブは必ず壁面より内側に入らないこと。）

ビルトインタイプのみ



- ※1 保守点検のため 30cm 以上離してください。
- ※2 防火性能認証品のため、この寸法で設置できます。

ストーブは必ず壁面より内側に入らないこと。

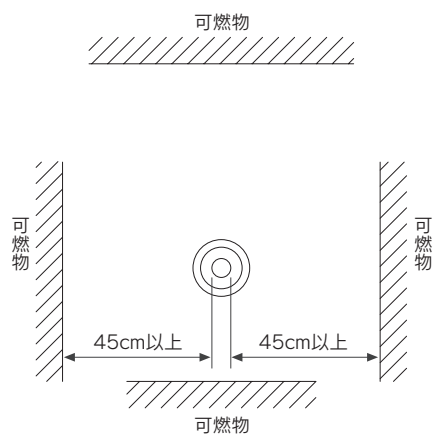
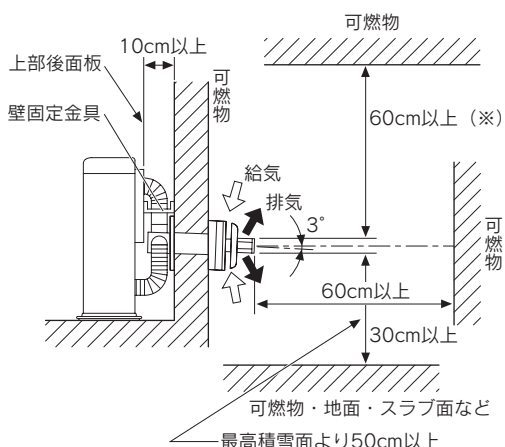


ご注意

- マントルピースなどストーブが囲われる場所に設置する場合の内部やその周辺は、できるだけ不燃材料または準不燃材料あるいは防熱板で仕上げを行ってください。 **ビルトインタイプ**
- 上図では可燃物までの離隔距離を示していますが、保守点検や性能維持のため、不燃物などの場合も上図離隔距離としてください。
- 熱に弱い物の上には据え付けしないでください。
- ストーブの位置を微調整する際、置台で床が傷つくので注意してください。

据付け・移設

【給排気筒トップから周囲の可燃物までの離隔距離】



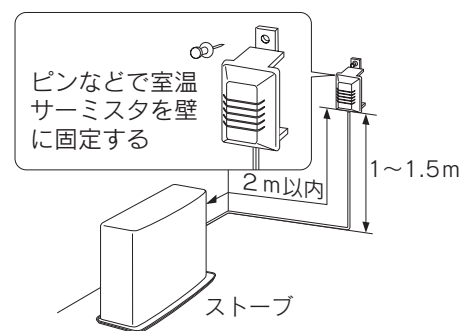
注(※) 不燃材を使用する場合は30cm以上とする。

- ・給排気筒トップは上方および両側に気流を阻止する障害物がないこと。
- ・雪の多い地方では、最高積雪面よりも50cm以上離れる場所に、給排気筒を取り付けてください。
- ・不燃物の場合でも性能維持のため、上図離隔距離としてください〔(※)部は除く〕。

室温サーミスタの取付け

室温サーミスタを壁面に固定してください。

- 室温サーミスタをストーブよりはずし、部屋の温度を代表できる壁面にピンなどで固定してください。ストーブに取り付けたままですと、正しく室温調節しません。室温サーミスタのリード線の長さは約2.5mです。その範囲内で取り付けてください。
- 室温サーミスタは直射日光やふく射熱があたるところには取り付けないでください。正しく室温調節しません。



給気管・排気管を延長する場合の注意

- 給気管・排気管を延長する場合は、3m3曲がり以下で取り付けられる場所を選定してください。

積雪地区における注意

- 積雪の多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取付場所を選定してください。また、風がよどむような場所では、排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられていることを確認してください。
- 給気管・排気管を延長設置している場合、延長長さは3m以下、曲がりは3箇所以下になるようにしてください。

床暖内蔵タイプ

ソフトパネルの敷設

- ソフトパネル付属の取扱説明書に従って敷設してください。
- ソフトパネルの最大接続畳数は7.5畳です。1系統4.5畳までとし、それ以上は分岐して2系統としてください。

お願い

- ソフトパネルには重い物、テーブル、机などは載せないでください。
- 金属パネルを使用する場合の最大接続畳数は5畳です。
- 寒冷地でソフトパネルを使用する場合の最大接続畳数は3畳です。
また、寒冷地で金属パネルを使用する場合の最大接続畳数は3畳です。
- 寒冷地では床暖回路1系統のみにてご使用ください。

床暖内蔵タイプ

漏れ検査(水圧試験)

- すべての接続が終了しましたら必ず漏れ検査を行い、漏れないことを確認してください。
- 漏れ検査の条件は下記の表に従ってください。

床パネル	配管	検査圧力
ソフトパネル	ゴム管	50kPa(0.5kgf/cm ²)

検圧時間

試験圧力で60分間以上放置して、圧力降下が3%以内とする。
各配管接続部に漏れがないか目視で確認する。

据付け・移設

床暖内蔵タイプ

循環水の補給

不凍液の割合

- 循環水には凍結防止および腐食防止のため、必ず当社純正の温水暖房用不凍液を使用してください。
他の不凍液を使用すると、配管内部に不純物が付着し機器の寿命が短くなることがあります。
- 不凍液に付属のシールに給水年月日を記入し、ストーブ本体の側面に貼り付けるか、大切に保管してください。
- 不凍液の割合は、各地の凍結温度条件により選定してください。
不凍液割合と凍結温度は不凍液の容器に記載しています。
- 補給は必ず当社純正の温水暖房用補充液を使用してください。

不凍液の必要量

なまえ	容量 (L)	なまえ	容量 (L)
ストーブ本体	1.2	4.5 畳用	3.0
		3 畳用 (左右取付兼用)	2.4
ツインチューブ 配管往復 1m あたり	0.1	3 畳用 (正方形)	1.9
		2 畳用	1.6

- 上記より全容量を求めて不凍液の必要量を計算します。(不凍液濃度が 50% の場合)
全容量 × 不凍液割合 = 不凍液量

(例)外気温 -20℃ (不凍液割合は 0.8)、ソフトパネル 4.5 畳用敷設、配管片道全長 5m の場合
全容量 : 1.2L (ストーブ) + 3.0L (床暖房パネル) + 0.1L (配管) × 5 = 1.2 + 3.0 + 0.5 = 4.7L
不凍液量 : 4.7 × 0.8 = 3.8L

※不凍液濃度が 40% の物を使用する場合は、全容量が不凍液量となります。

お願い

- 不凍液は腐食防止のため、暖かい地域でも必ず入れてください。
- 設置時不凍液を入れたのち蒸発で水位が下がった場合は、温水暖房用補充液を補給してください。
- 循環水は温水暖房用補充液を補給した場合、6~7年をめやすに入れ替えてください。
やむをえず水道水を補給した場合、2~3年をめやすに入れ替えてください。
入れ替えについては、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 不凍液は過熱により高温・高濃度になりますと引火しやすくなりますので注意してください。
- 不凍液を万一誤って飲み込んだ場合にはすぐに吐かせて、医師の診断を受けてください。

給水およびエア抜きの方法

●循環水の補給およびエア抜きを次のように行ってください。

1 ストープと床暖房パネルを接続する

2 運転スイッチが「切」になっていることを確認する

・省電力表示になっている場合は、運転スイッチ以外のボタンを一度押して表示部を表示させてから「6」のボタン操作を行ってください。

3 ストープ背面にある行きバルブ・戻りバルブが「開」の状態になっていることを確認する

4 ストープ前面の給水扉を押して、給水口を開く

5 給水栓を抜いて、循環水を水タンク「上限」まで入れる

・給水栓を抜かないと、給水できません。

6 床暖ボタンを 5 秒間以上押す

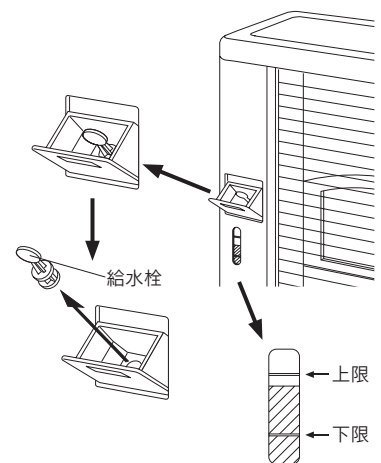
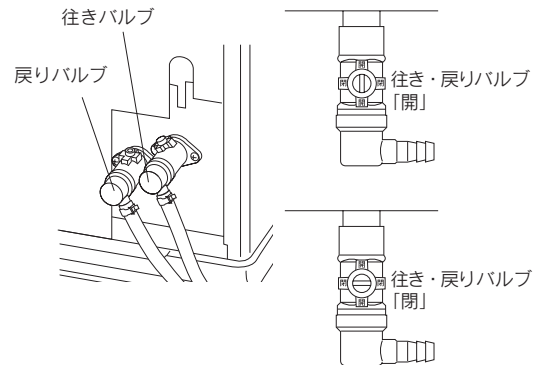
- ・液晶表示部に『P-on』を表示して、2 分間循環ポンプが運転します。
(水タンクの水位が「下限」以下の場合、液晶表示部に「PoFF」を表示して、「ピピッ・ピピッ・ピピッ」音を発しますので、循環水を水タンクの「上限」まで入れてください。)
- ・2 分間水タンクの水位が「下限」以上の場合、循環ポンプが停止し、液晶表示部が現在時刻表示に戻ります。
- ・この間に水タンクの水位が「下限」以下になった場合は、液晶表示部に「PoFF」を表示し、「ピピッ・ピピッ・ピピッ」音を発して循環ポンプが停止しますので、再度循環水を「上限」まで入れてください。
(循環水を「下限」以上入ると液晶表示部に「P-on」を表示し「ピピッ・ピピッ・ピピッ」音が停止し、自動的に循環ポンプの運転が開始します。)その後 2 分間水タンクの水位が「下限」以下にならないければ、循環ポンプが停止し、液晶表示部が現在時刻表示に戻ります。

7 再び循環水を水タンク「上限」まで入れる

8 上記 6 の操作を再度行う

- ・床暖房パネルをよく振って床暖房パネル内のエアを抜いてください。
- ・循環ポンプが停止し、液晶表示部が現在時刻表示に戻ればエア抜きは完了です。

9 給水栓を差し込み、給水扉を閉める



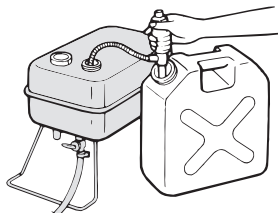
お願い

- 水タンクの水位が「下限」以下の場合には、循環ポンプは動作しません。また、給水中に「下限」を下回った場合も循環ポンプは自動的に停止します。
- 給水して水位が上昇すると循環ポンプは自動的に運転します。
- 給水はこぼれないよう注意してください。
- 給水後は必ず給水栓を差し込み、扉を閉めてください。
- 循環水は、温度が上昇すると膨張しますので、水タンクの上限を超えないよう補給してください。
- 循環ポンプの運転中は水位は若干下がりますが、循環ポンプが停止すると水位は戻ります。水位の確認は、循環ポンプが停止した状態で行ってください。
- エア抜きを途中で終了する場合は、いずれかのボタンを押してください。(液晶表示部が現在時刻表示に戻ります。)
- 温水配管内のエア抜きが不十分だと、循環水の循環する音が大きくなることがあります。
この場合は、再度エア抜きを行ってください。

試運転

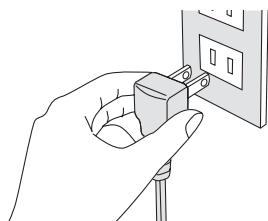
試運転は、販売店または据付業者とご一緒に必ず行ってください。

運転準備

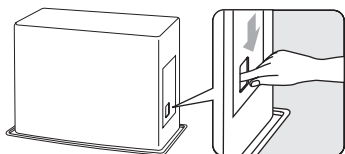


1 油タンクに給油する

15 ページ



2 電源プラグをコンセントに差し込む



3 定油面器のリセットボタンを押す

16 ページ

確認

- 油タンク・送油管・ゴム製送油管から油漏れはありませんか。
- 置台の上などに油がこぼれていませんか。
- 温水配管から水漏れはありませんか。 **床暖内蔵タイプ**
- 温水配管のバルブが開いていますか。 **床暖内蔵タイプ**

運転



1 運転 入切 を押して「入」にする

- 運転ランプと表示部のバックライトが点灯し、温度が表示され、約 100 秒間予熱後、着火します。
(室温・外気温により着火までの時間は変動します。)
- 着火後、約 1 分間予備燃焼を行い、本燃焼へ移行します。本燃焼へ移行して約 1 分経過後に対流用送風機が回ります。

床暖内蔵タイプ

2 床暖 を押す

- 床暖ランプが点灯します。
- 数十分後に温水配管が温まります。

消火



1 運転 入切 を再度押して、「切」にする

- 運転ランプと表示部のバックライト、温度表示が消灯します。対流用送風機はストーブが冷えるまで回り続けます。

正常運転のめやす

- 正常運転のめやすとして **46 ページ** のような現象がないことを確認します。

お願い

- 機器より煙や臭いが出ることがありますが、燃焼室の塗装やパッキン類が焼けるためで異常ではありません。最大燃焼で数十分運転すると消えますので、部屋の換気をしながら試運転してください。

長府石油暖房機 保証書 (販売店様控)

型 名	UFH-703SX/UFH-703RX/FFR-703SX/FFR-703RX			
★製造番号	No.	保証期間	3 年	
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名	
★お 客 様	お名前		様	
	ご住所			
	電話 ()		電話 ()	

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府石油暖房機 保証書 (お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型 名	UFH-703SX/UFH-703RX/FFR-703SX/FFR-703RX		
★製造番号	No.	保証期間	3 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名
★お客様	お名前 様		電話 ()
	ご住所		
	電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 公害による不具合
- (12) 電気・燃料等の供給トラブル等に起因する不具合
- (13) 指定規格以外の電気・燃料を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 TEL(083)248-1111

アフターサービス

修理を依頼するとき

●「故障かな?と思ったら」[40~46ページ](#)をもう一度確認していただき、直らないときは保証書(前ページ)に記載の**お買い求めの販売店にご連絡ください。**

●修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。

●修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。

①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。

②修理に使用した部品代金です。

③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	密閉式石油ストーブ
型名	機器側板の銘板に記載されています。 11ページ
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

●この機器には「保証書」がついています。正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。


●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。

●一般家庭用の暖房以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。

補修用性能部品について

●補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後10年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様からの
お問い合わせは、
フリーダイヤルへ

 **0120-925-339**
携帯電話からは **0570-666-339**
(通話料金がかかります)

お客様から取得いたしました個人情報
は、お客様へのお問い合わせ対応を
目的として利用し、適切に管理します。
修理業務等を委託する場合や正当な理
由がある場合を除き、第三者に開示・
提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する
お問い合わせ

24時間365日受付

商品に関する
お問い合わせ

平日 8:10~18:00
土日祝 8:10~17:00

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

- 水漏れや油漏れがある。
- 煙が出たり、灯油の臭いがする。
- 運転中にこげくさい臭いがする。
- 異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止して
電源プラグを抜き、送油バルブを閉め
て、お買い求めの販売店に点検・修理を
依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

CHOFU

本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1